

道徳教育の更なる改善・充実を目指して

～令和3年度道徳教育実施状況調査結果のポイント解説～

目次

- I はじめに**
- II 道徳の「特別の教科」化による変化**
- III 道徳科の授業改善**
- IV 道徳科の評価の工夫**

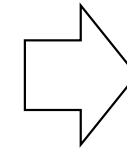
- V 諸計画の作成・活用**
- VI 指導体制と研修の充実**
- VII 家庭・地域社会との連携**
- VIII 今後の充実に向けた国の取組への示唆**

I はじめに

道徳教育の課題と特別教科化がめざすもの

量的課題

- 歴史的経緯に影響され、いまだに道徳教育そのものを忌避しがちな風潮がある。
- 他教科等に比べて軽んじられ、他の教科等に振り替えられていることではないか。

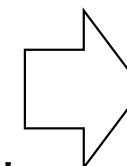


年間35単位時間を
確実に確保するという

量的確保

質的課題

- 教員をはじめとする教育関係者にもその理念が十分に理解されておらず、効果的な指導方法も共有されていない。
- 地域間、学校間、教師間の差が大きく、道徳教育に関する理解や道徳の時間の指導方法にばらつきが大きい。
- 授業方法が、読み物の登場人物の心情を理解させるだけなどの型にはまったものになりがちである。
- 学年が上がるにつれて、道徳の時間に関する児童生徒の受け止めがよくない状況にある。



児童生徒一人一人が、
答えが一つではない
道徳的な課題を自分自身の
問題として捉え向き合う
「考え、議論する道徳」への

質的転換

(「道徳教育の充実に関する懇談会」報告(H25.12.26)における指摘より)

道徳の「特別の教科」化(学習指導要領の改正)

教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申を踏まえ、学習指導要領の一部を改正し、「道徳の時間」(小・中学校で週1時間)を「**特別の教科 道徳**」(「**道徳科**」)(**引き続き週1時間**)として**新たに位置付ける**(平成27年3月27日)。平成30年4月から小学校にて全面実施(中学校は31年度から)

具体的なポイント

【特別の教科】

道徳は、**学級担任が担当**することが望ましいと考えられること、**数値などによる評価はなじまない**と考えられることなど、各教科にない側面があるため、「特別の教科」という新たな枠組みを設け、位置付ける。

- ☑ 道徳科に**検定教科書を導入**
- ☑ 内容について、**いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なもの**に改善
 - 「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加
- ☑ **問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫**
- ☑ 数値評価ではなく、**児童生徒の道徳性に係る成長の様子**を認め、励ます評価(記述式)
 - 指導要録の様式例は示すが、内申書には記載せず、入学者選抜に使用しない

※私立小・中学校はこれまでどおり、「道徳科」に代えて「宗教」を行うことが可能

「答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育への転換により児童生徒の道徳性を育む。

令和3年度 道徳教育実施状況調査の概要

1. 調査の目的

道徳科を要とした道徳教育の全国的な取組状況や課題を把握することで、今後の道徳教育のさらなる改善、充実を図るために必要な知見を得る。

2. 調査対象

- ・ 公立小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）
※無作為抽出により小学校1,197校、中学校1,144校
- ・ 全ての都道府県、市区町村の教育委員会（計1,784）

3. 調査内容

調査項目（小・中学校対象）	
設問1	道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点
設問2	道徳教育の充実のために学校として行った取組
設問3	道徳教育を推進する上での課題
設問4	道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫
設問5	道徳科の評価の工夫
設問6	道徳科の授業を実施する上での課題
設問7	道徳科の評価を行う上での課題
設問8	道徳教育の校内研修実施回数
設問9	校内研修で重点を置いていること
設問10	道徳教育推進教師が重点を置いて取り組んでいること
設問11	道徳教育の充実のために参考としている情報
設問12	道徳の「特別の教科」化を受けた変化
設問13	道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化

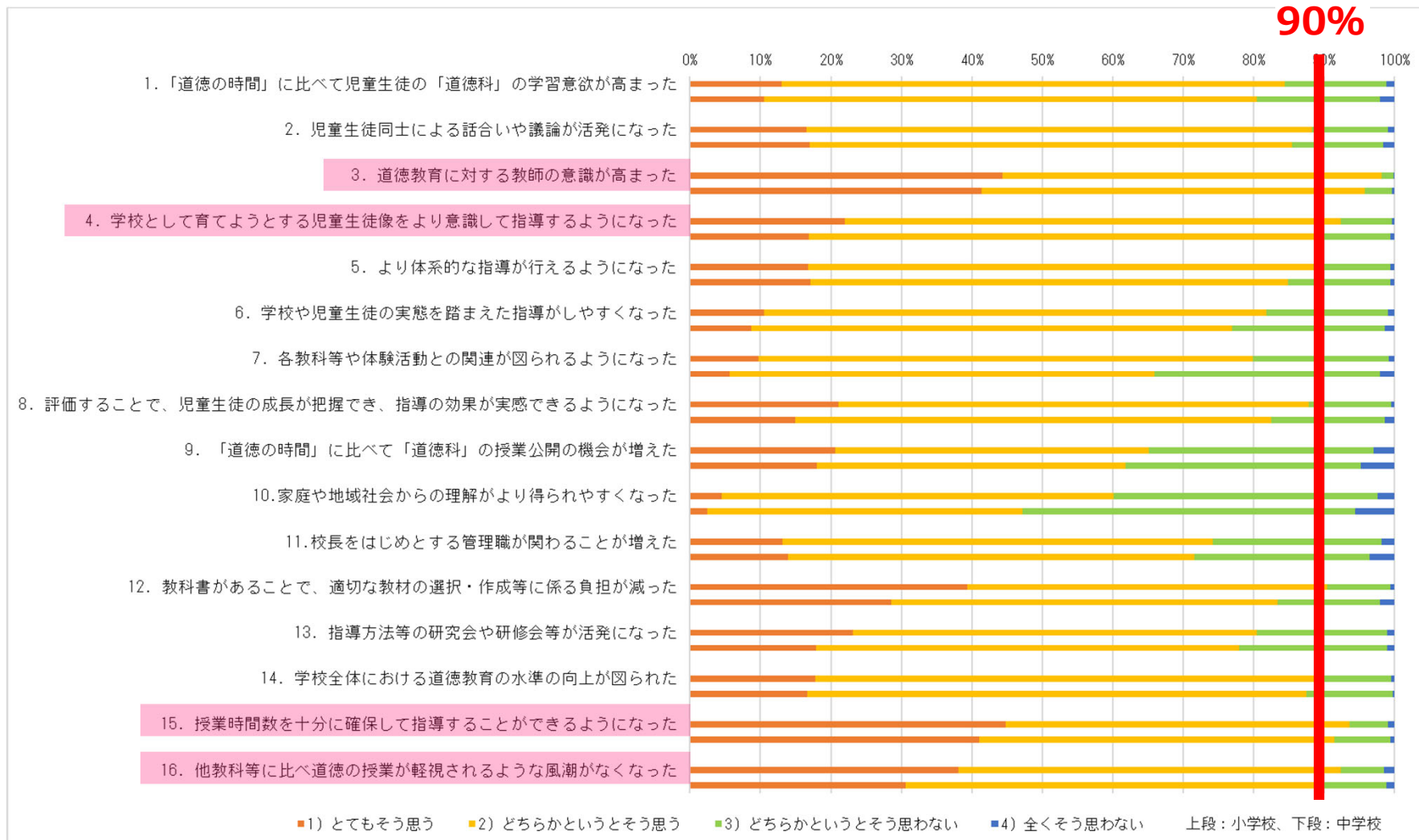
調査項目（教育委員会対象）	
設問1	道徳教育の充実のために行っている取組
設問2-①	道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること
設問2-②	課題解消に向けた方策のうち、単独での対応が困難なもの
設問3	道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化
設問4	道徳の「特別の教科」化を受けた学校におけるその他の変化

Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

調査結果（小・中学校）

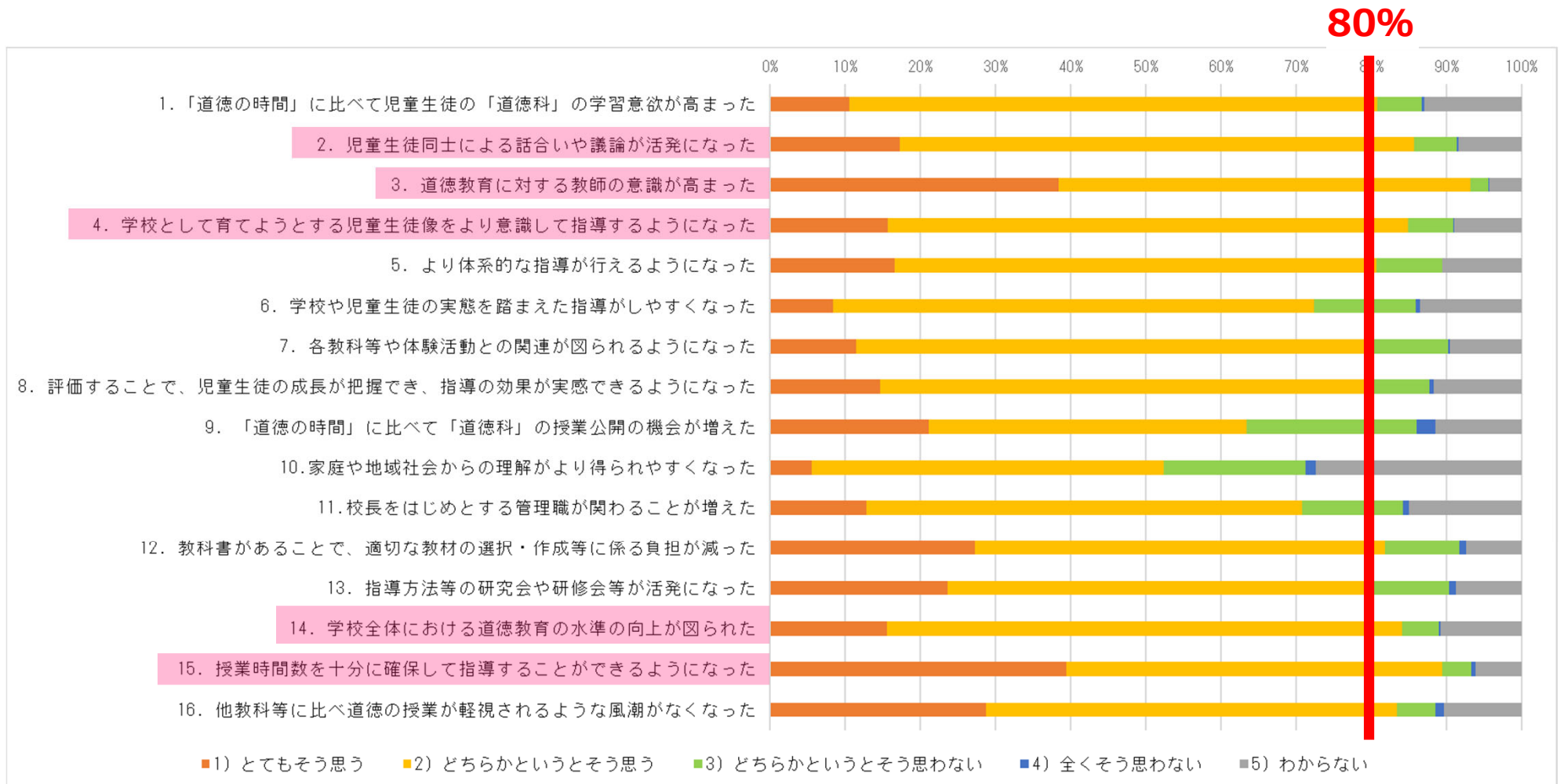
【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

調査結果（教育委員会）

【設問3】 道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化



Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

調査結果（小・中学校）

【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

課題につながる変化

- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

Ⅱ 道徳の「特別の教科」化による変化

調査結果（教育委員会）

【設問4】道徳の「特別の教科」化を受けた学校におけるその他の変化

前向きな変化

- 道徳教育の全体計画や別葉、年間指導計画の作成・活用がよりなされるようになった。
- 教師間で道徳科の授業が話題となることが増えた。
- 教科書という共通の教材があることで、学校間を越えて指導法や教材の確保・交換が容易にできるようになった。
- 評価を行うため、児童生徒の状況をこれまで以上に意識して成長を見取り、記録を蓄積するようになった。
- カリキュラム・マネジメントをより意識するようになった。
- いじめに対する児童生徒及び教師の意識が高まった。

課題につながる変化

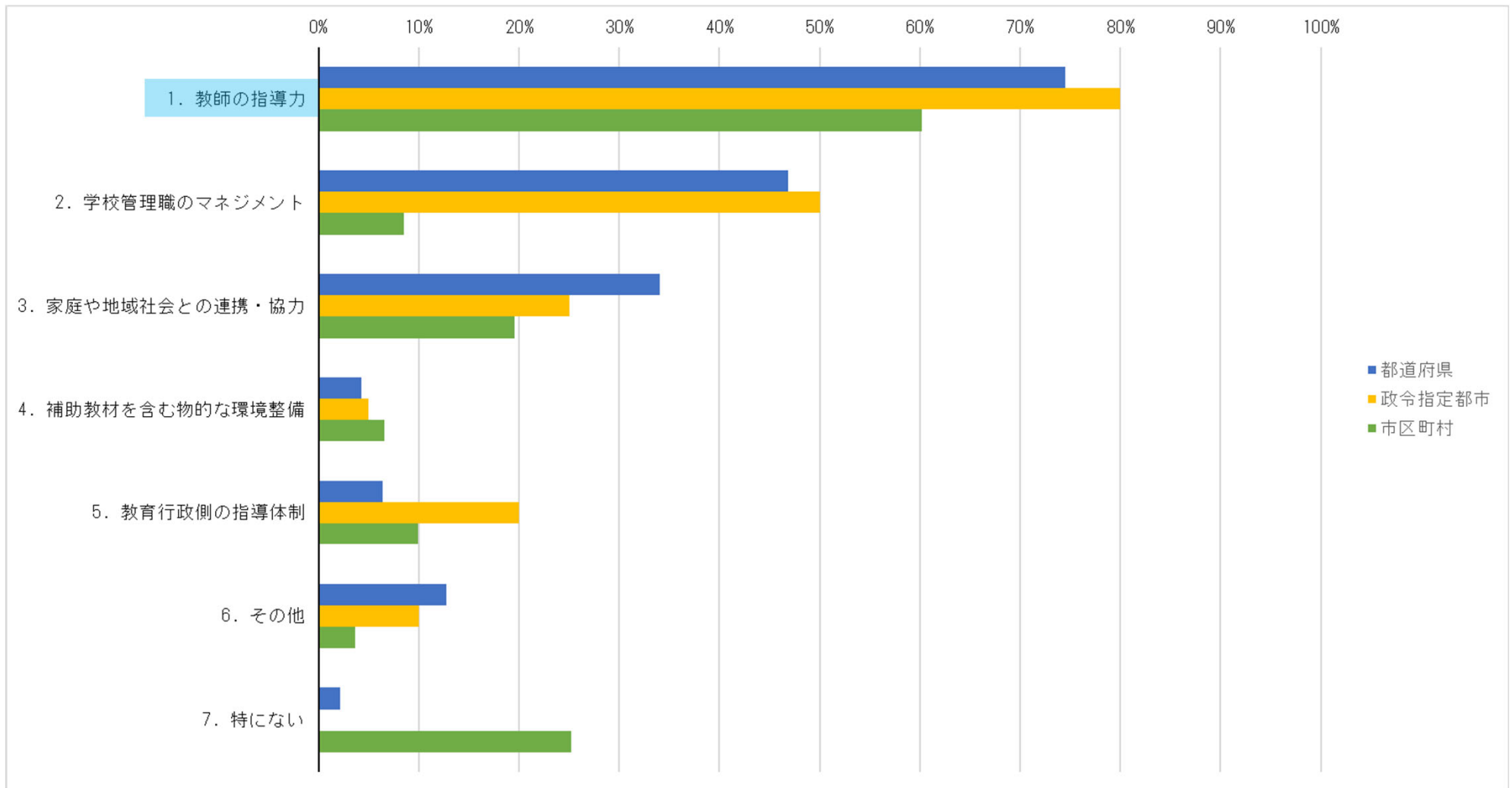
- 道徳教育の全体計画や別葉、年間指導計画の作成に当たり教科書発行者が提供する見本に頼ることが増えた。
- 評価に係る学級担任の業務が増加した。
- 教師が自ら作成・蓄積した道徳教材を使う機会が減少した。
- 教科書の発問例に依存し、児童生徒や学級の実態を踏まえた授業展開が行えていない場合がある。

Ⅲ 道徳科の授業改善

Ⅲ 道徳科の授業改善

調査結果（教育委員会）

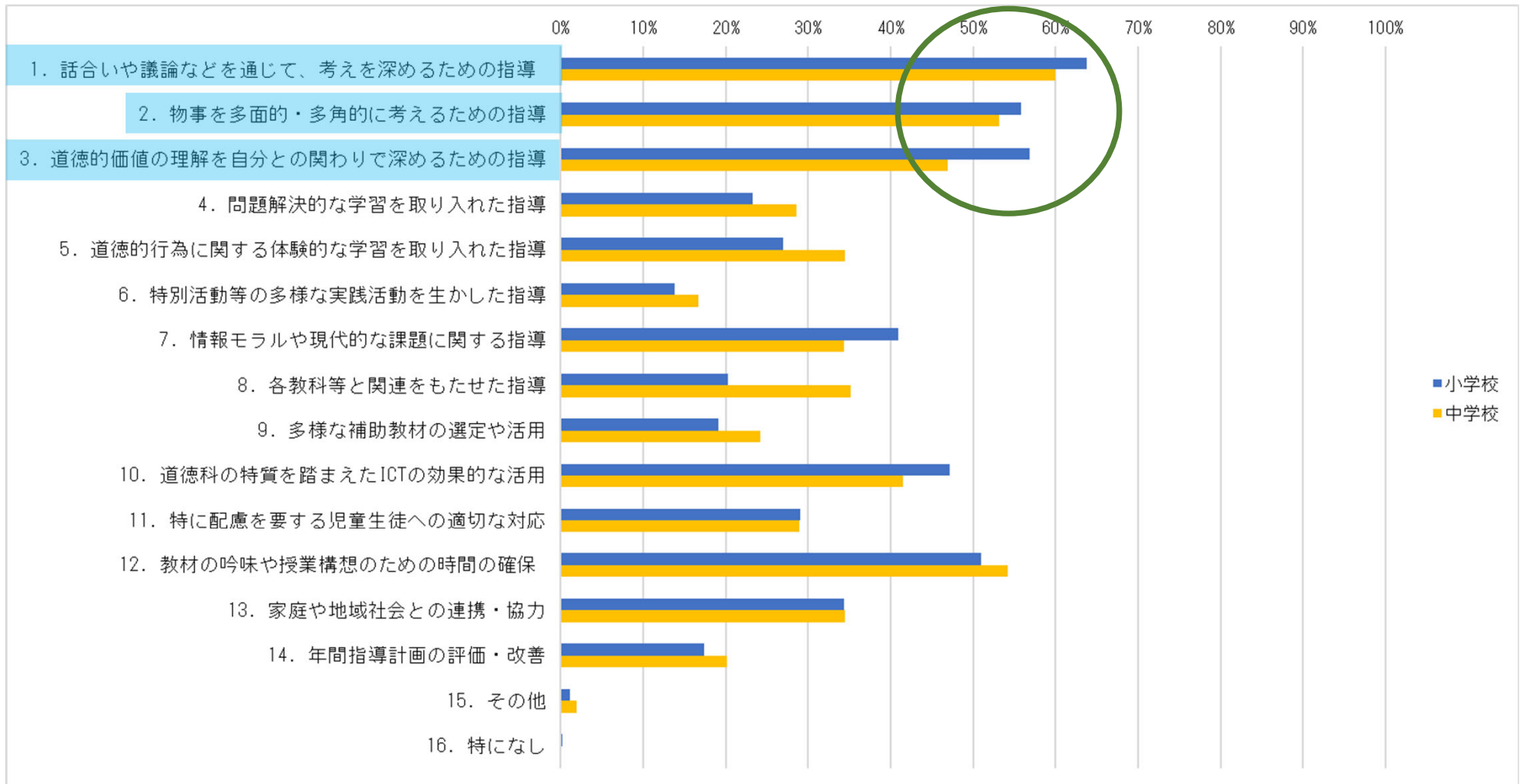
【設問2-①】道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること（複数回答）



Ⅲ 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

【設問6】 道徳科の授業を実施する上での課題（複数回答可）



Ⅲ 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

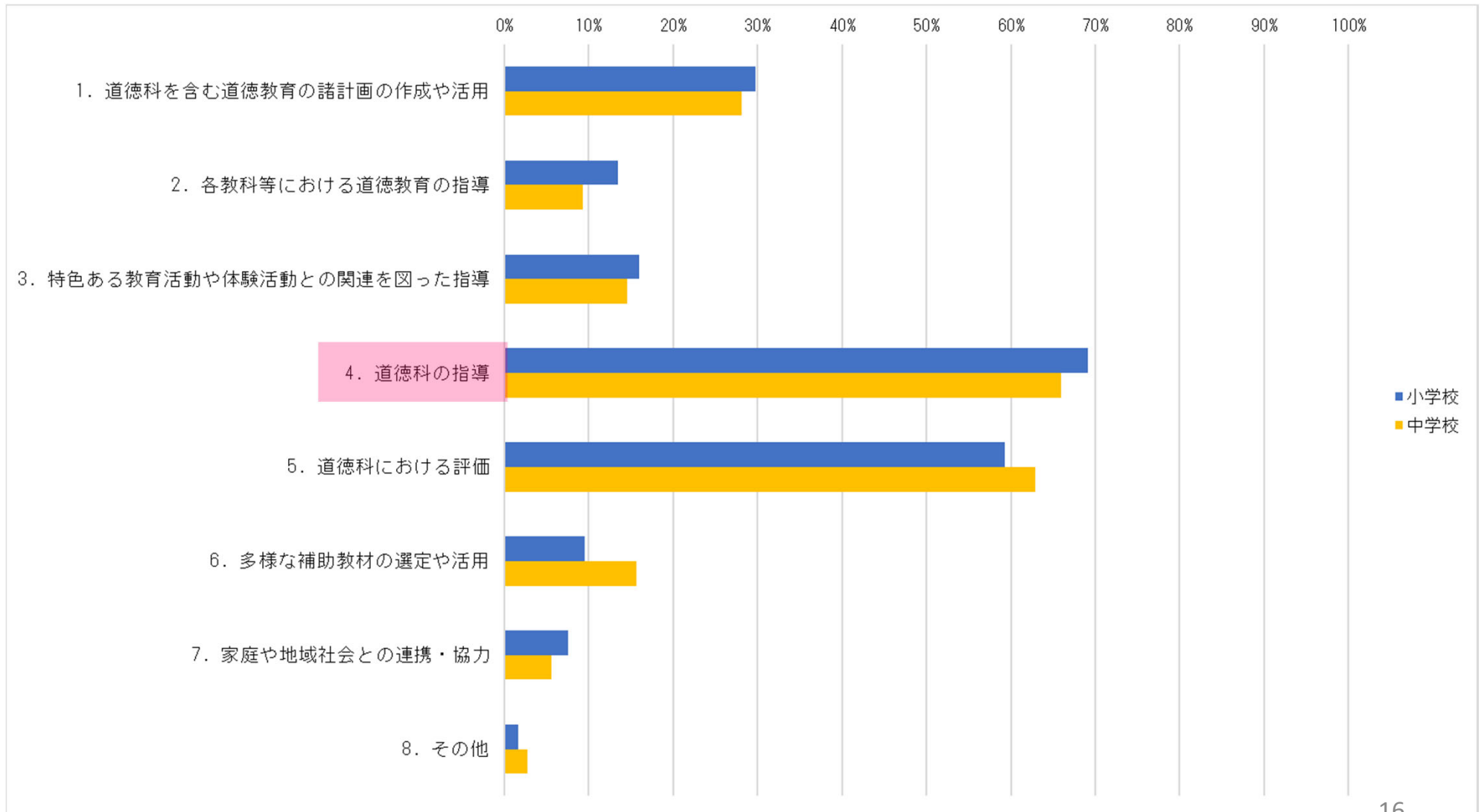
【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



Ⅲ 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

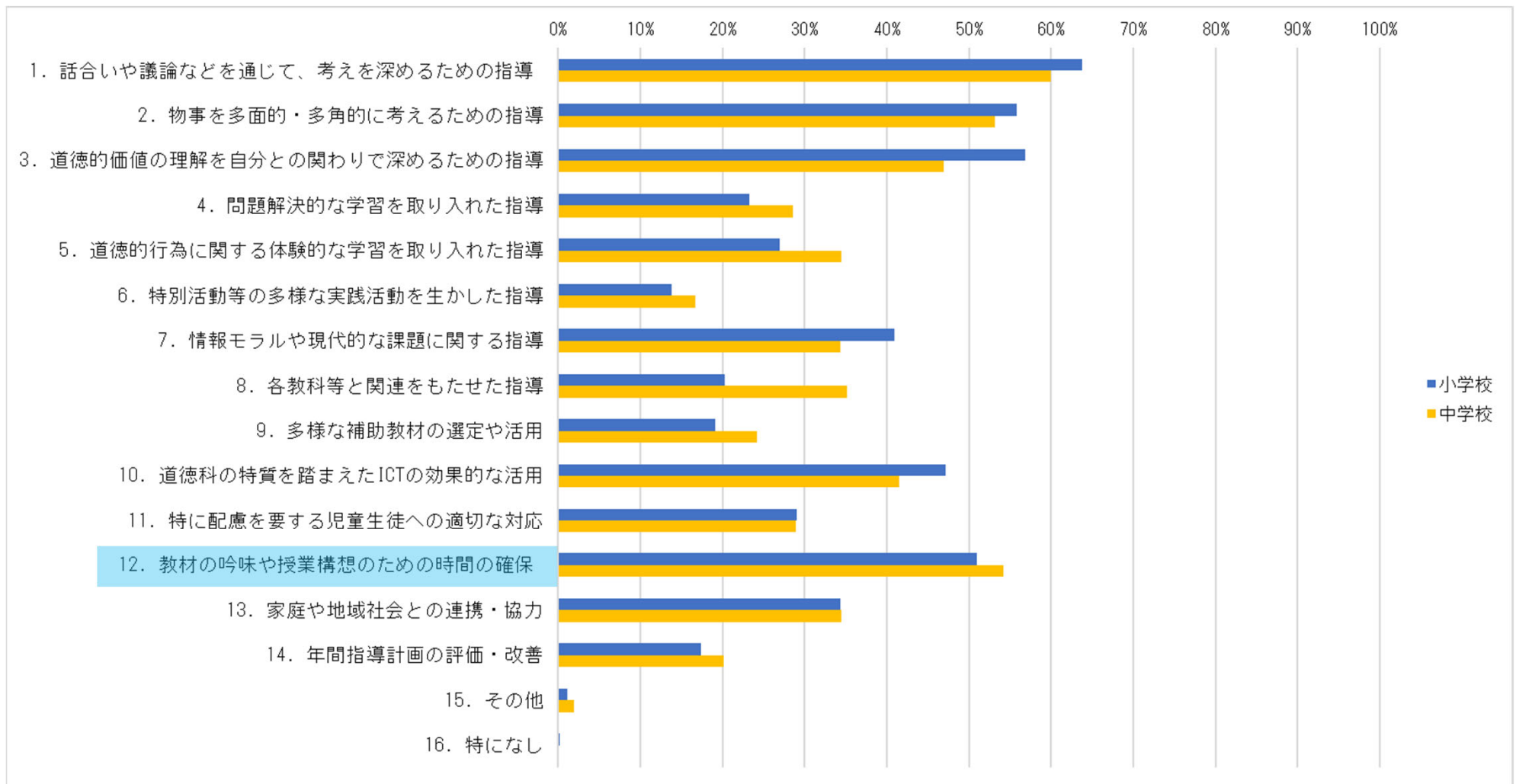
【設問9】 校内研修で重点を置いていること（複数回答可）



Ⅲ 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

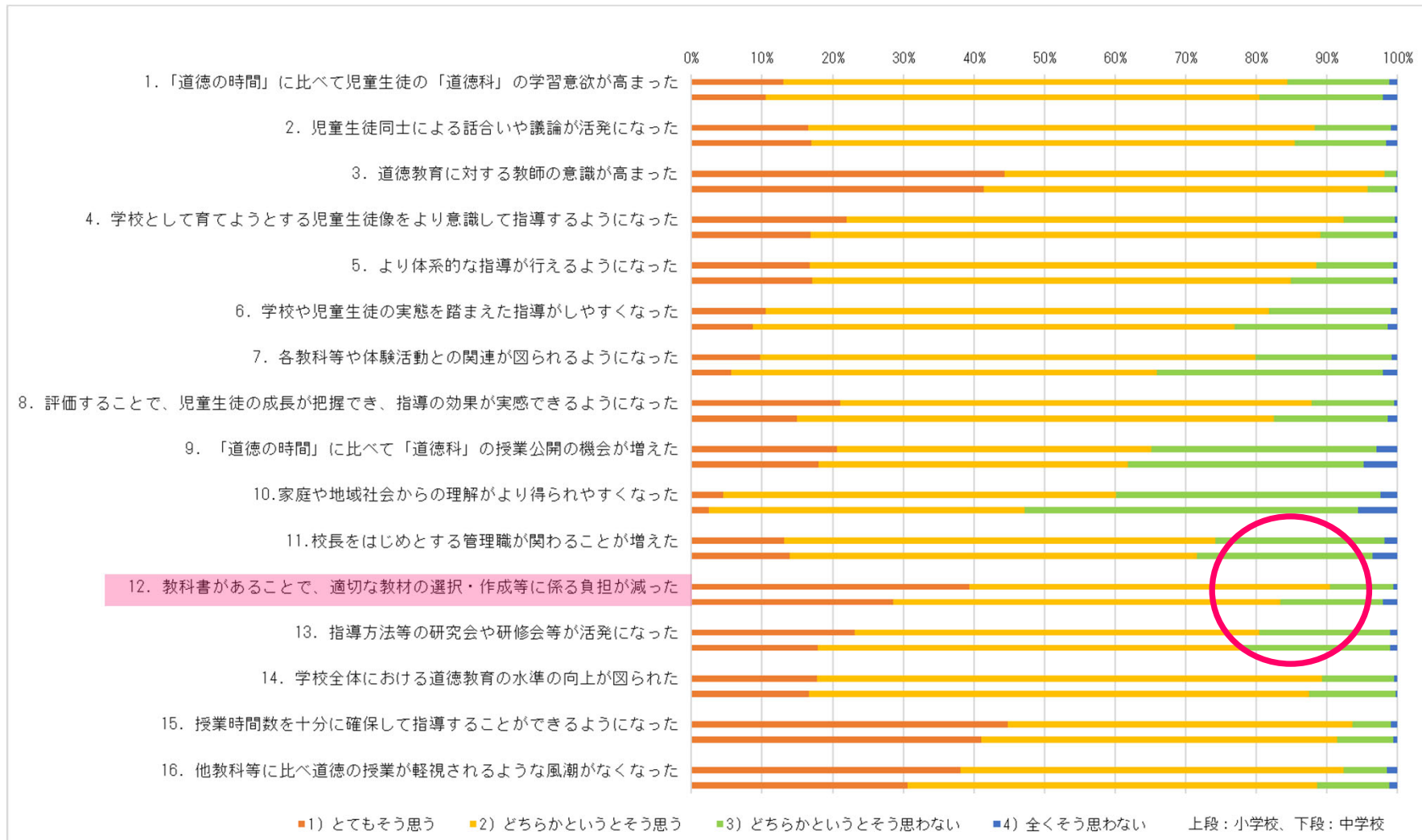
【設問6】道徳科の授業を実施する上での課題（複数回答可）



Ⅲ 道徳科の授業改善

調査結果（小・中学校）

【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



調査結果（小・中学校）

【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

課題につながる変化

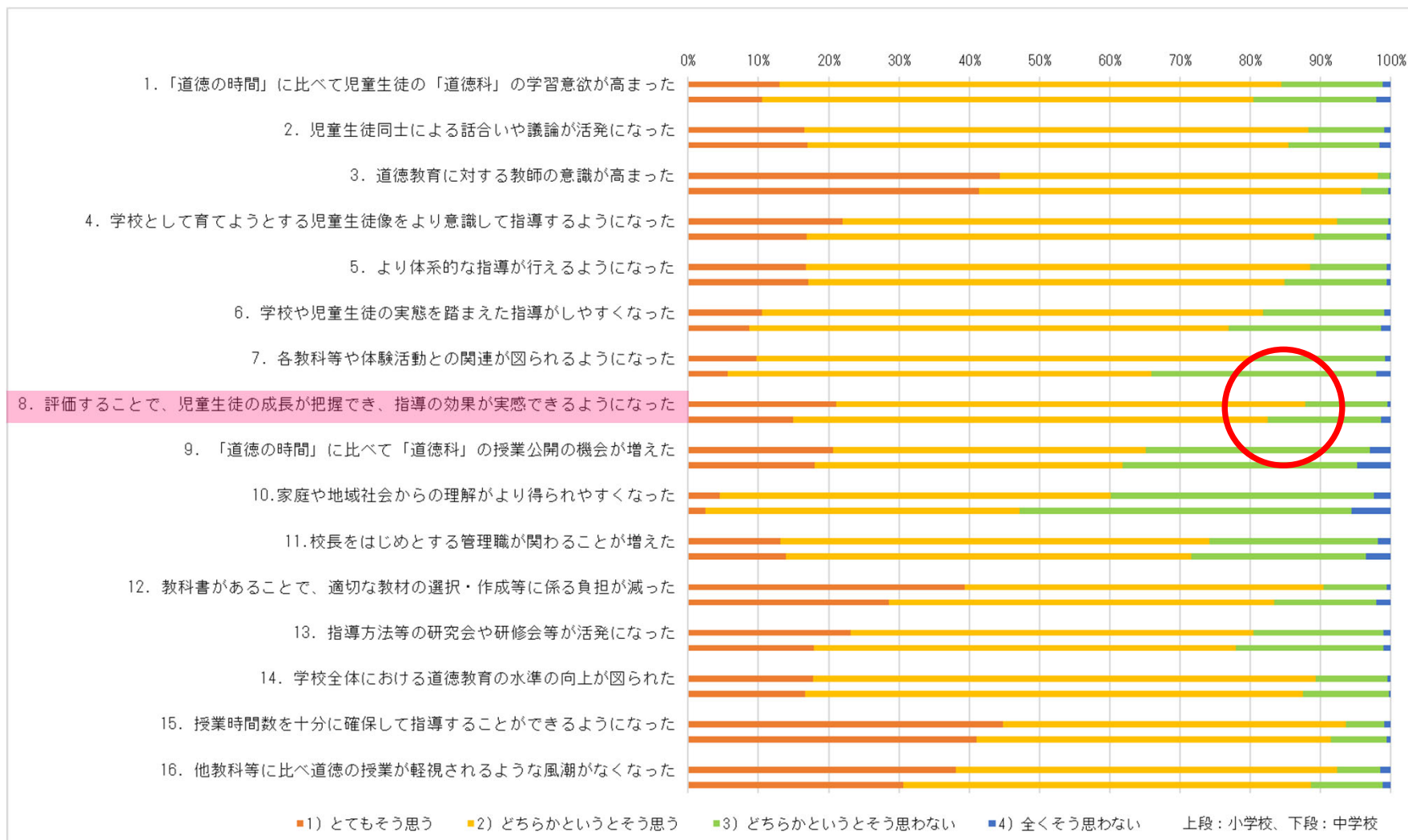
- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

IV 道徳科の評価の工夫

IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

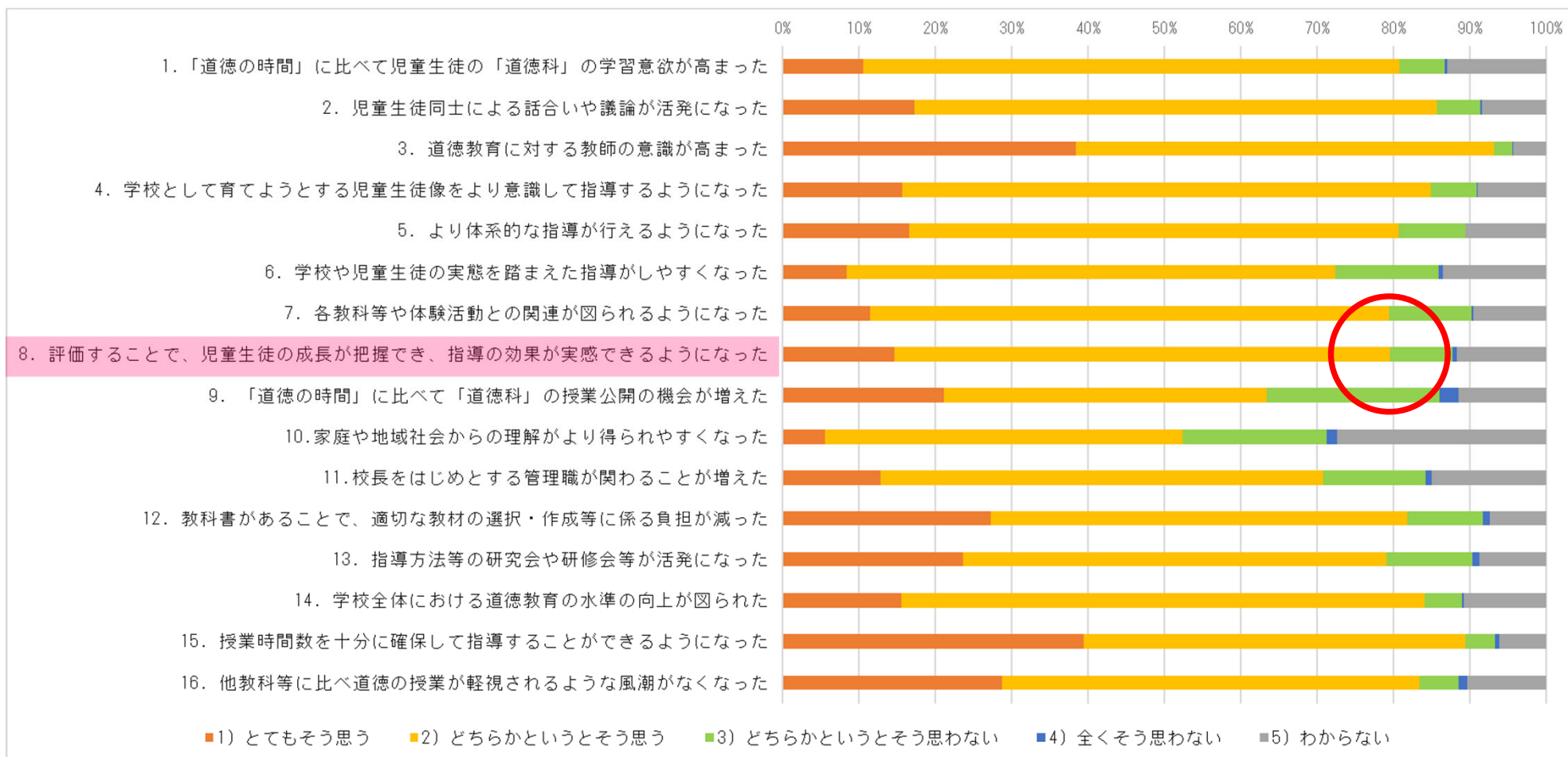
【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（教育委員会）

【設問3】道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化



調査結果（小・中学校）

【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

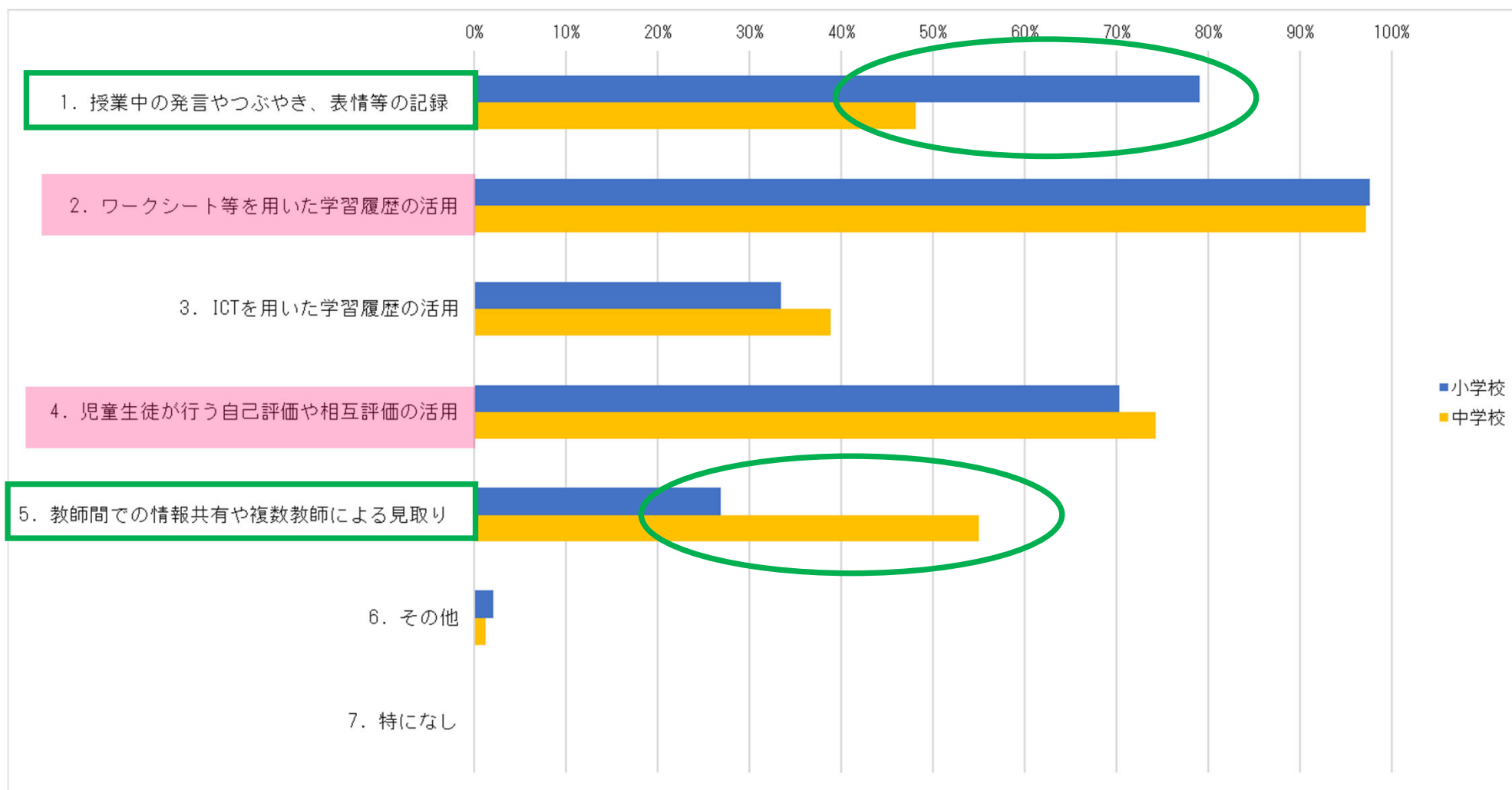
課題につながる変化

- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

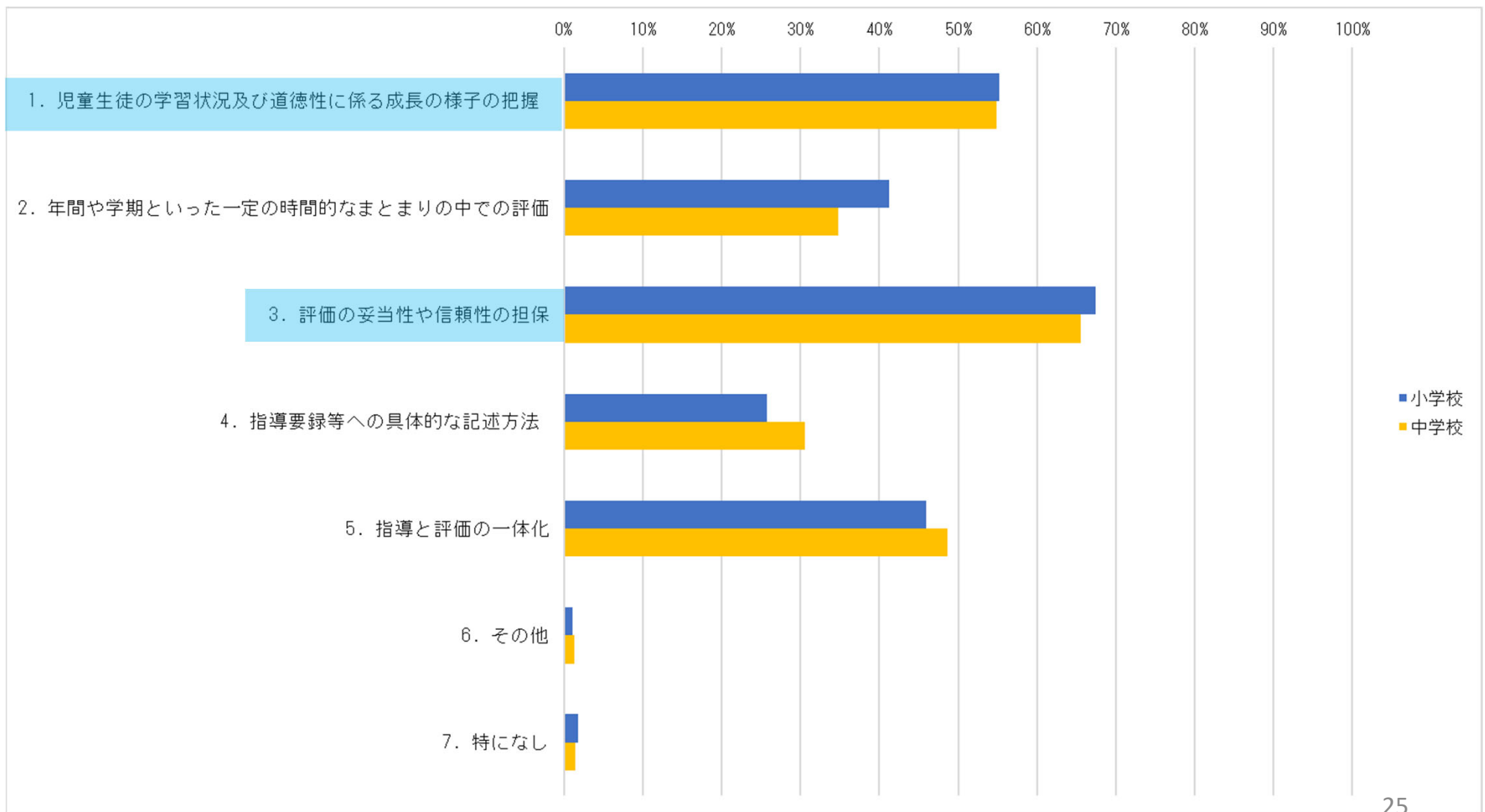
【設問5】 道徳科の評価の工夫（複数回答可）



IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

【設問7】 道徳科の評価を行う上での課題（複数回答可）



調査結果（小・中学校）

【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

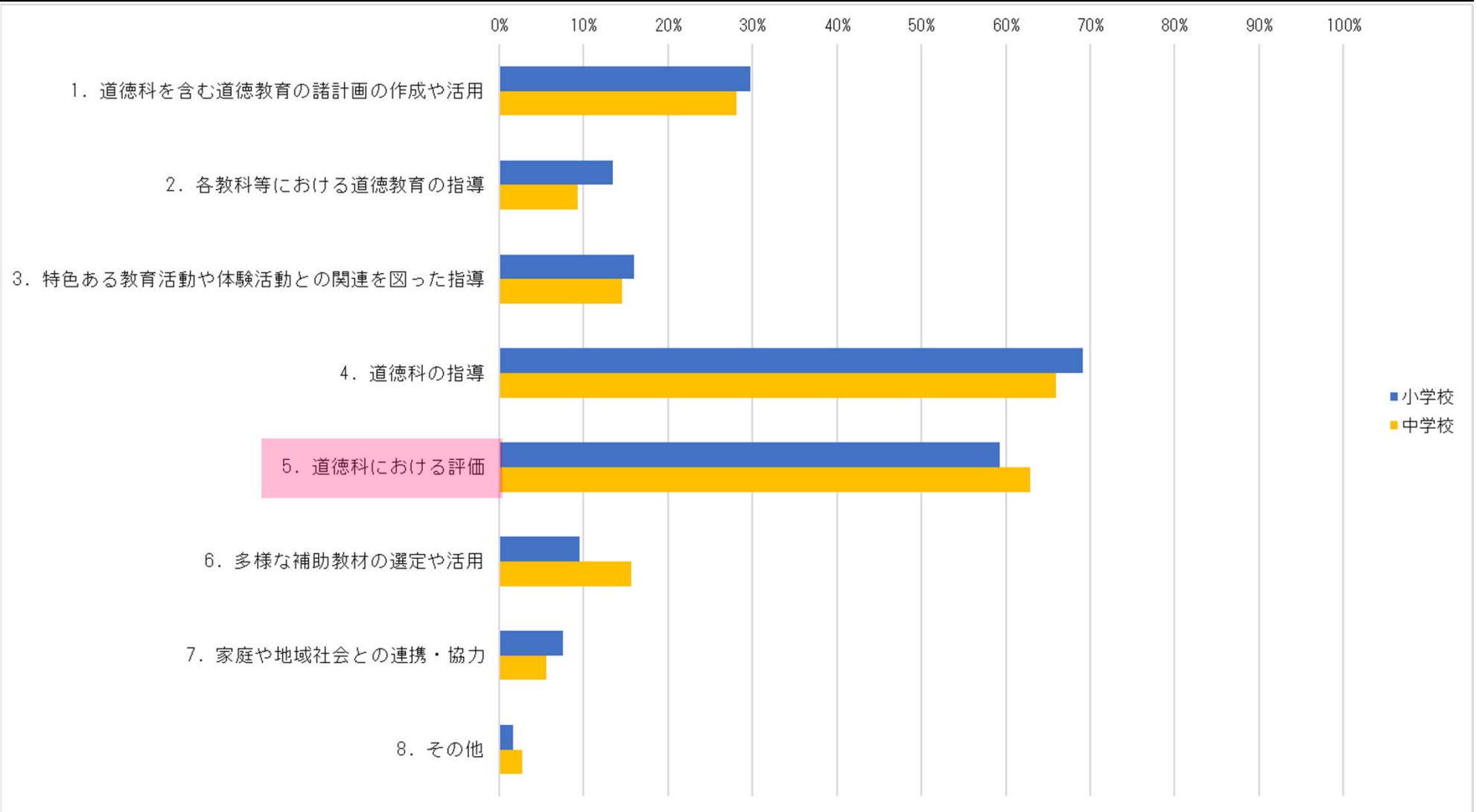
課題につながる変化

- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

【設問9】 校内研修で重点を置いていること（複数回答可）



道徳科における評価の意義

児童（生徒）の学習状況や道徳性に係る成長の様子を**継続的に**把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

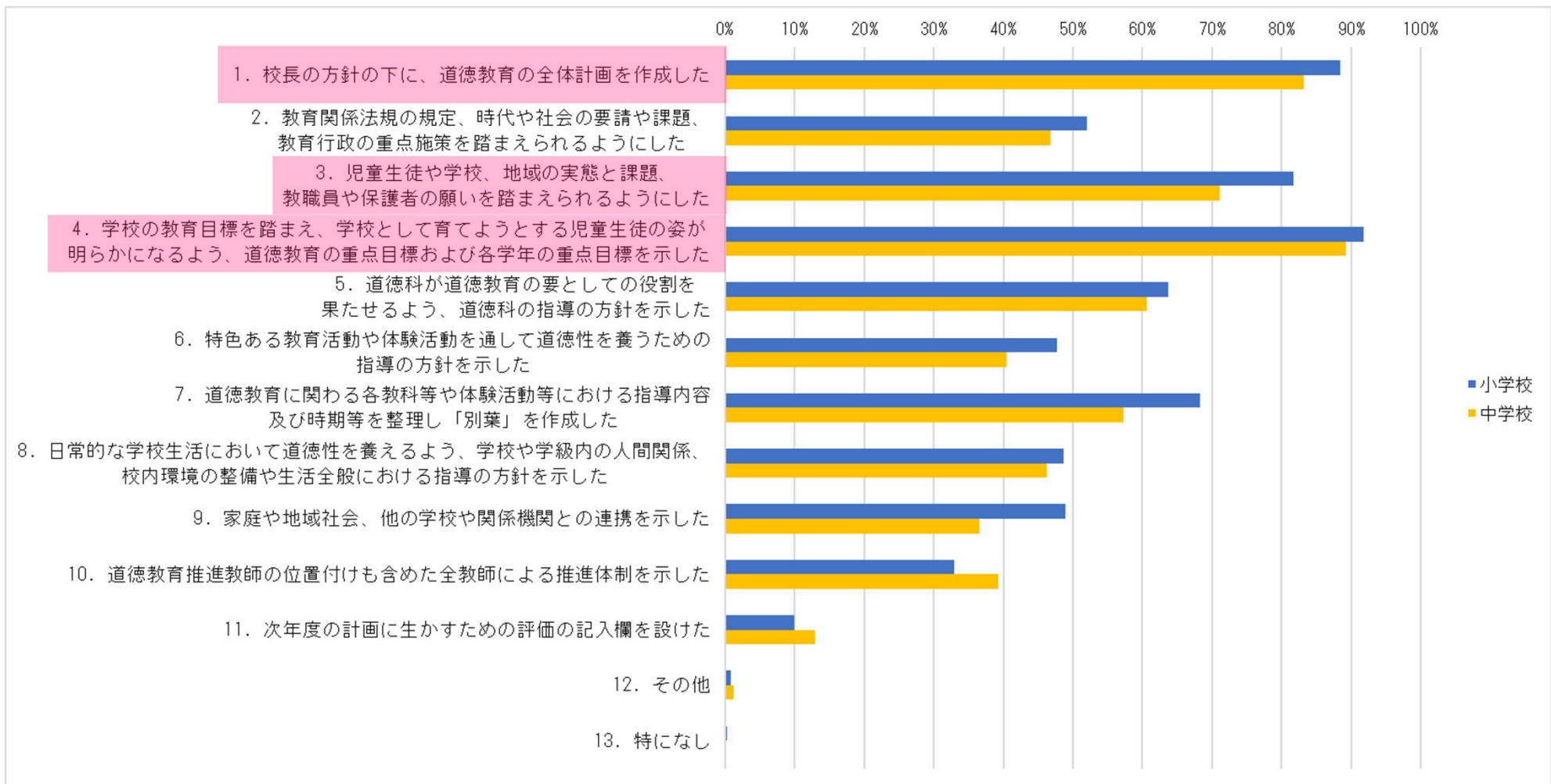
(1) 道徳科に関する評価の基本的な考え方

(略) その際、個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすることや、他の児童（生徒）との比較による評価ではなく、児童（生徒）がいかに成長したかを**積極的に受け止めて認め、励ます**個人内評価として記述式で行うことが求められる。

V 諸計画の作成・活用

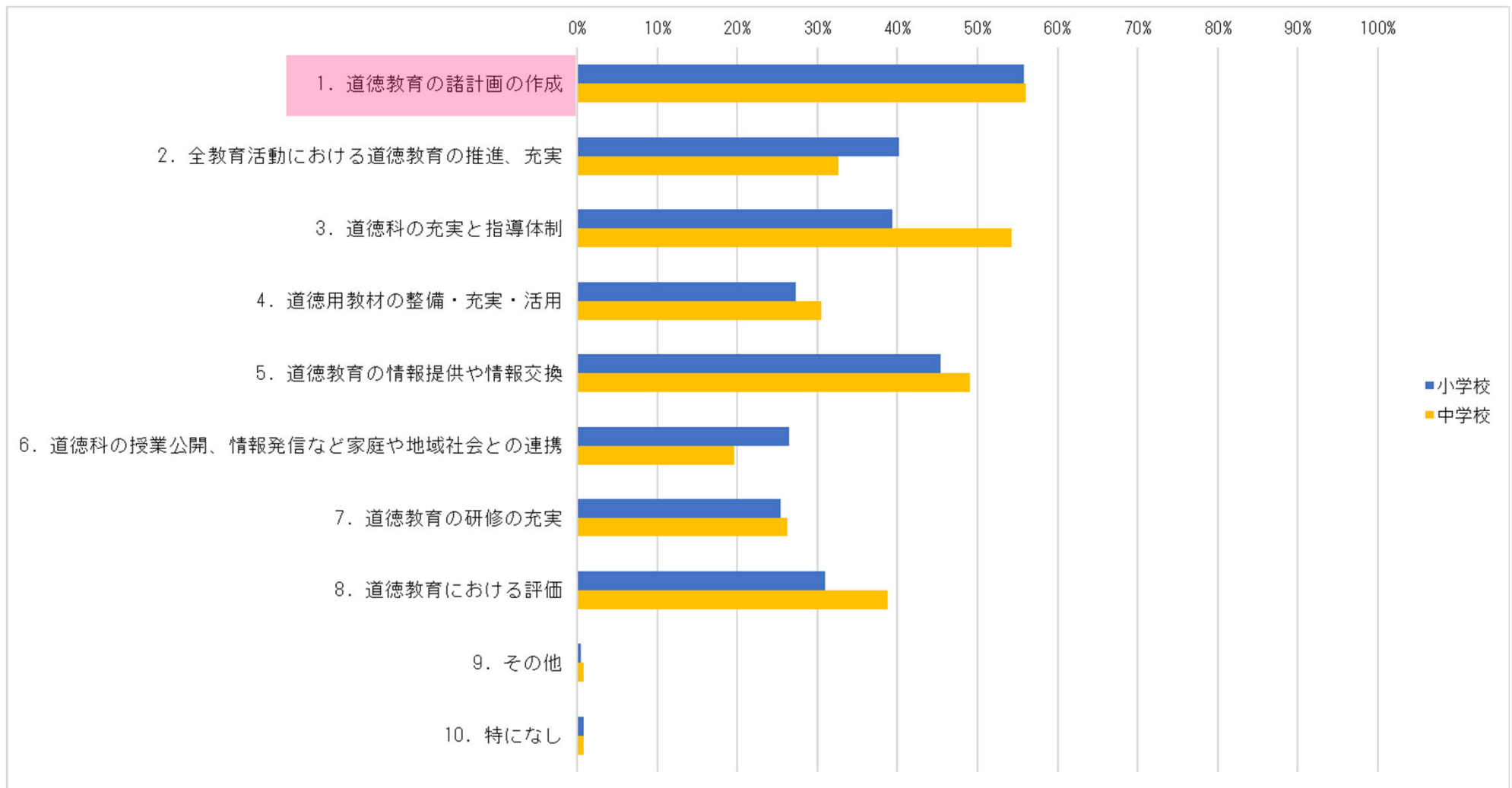
調査結果（小・中学校）

【設問1】 道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点（複数回答可）



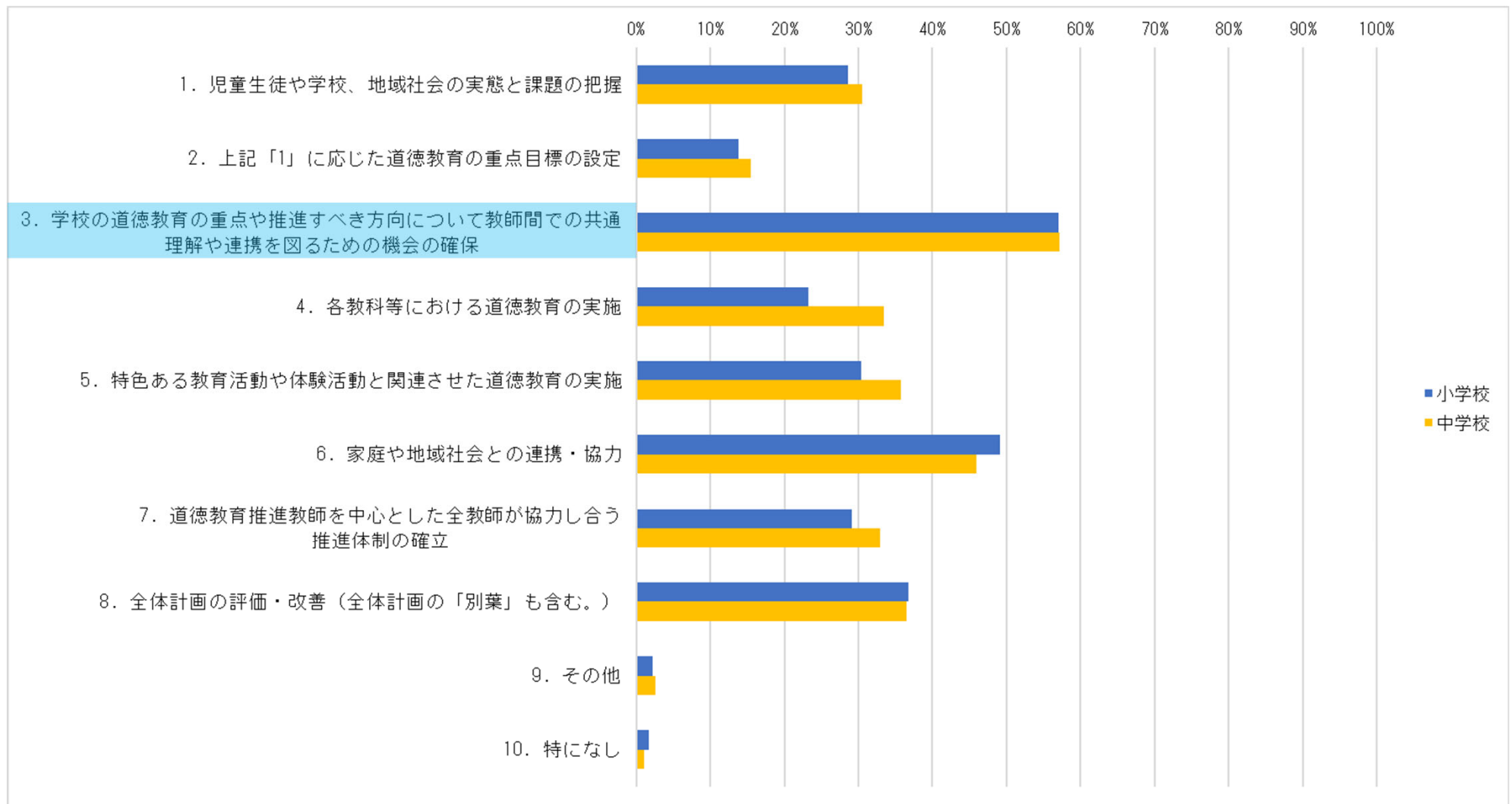
調査結果（小・中学校）

【設問10】 道徳教育推進教師が重点を置いて取り組んでいること（複数回答可）



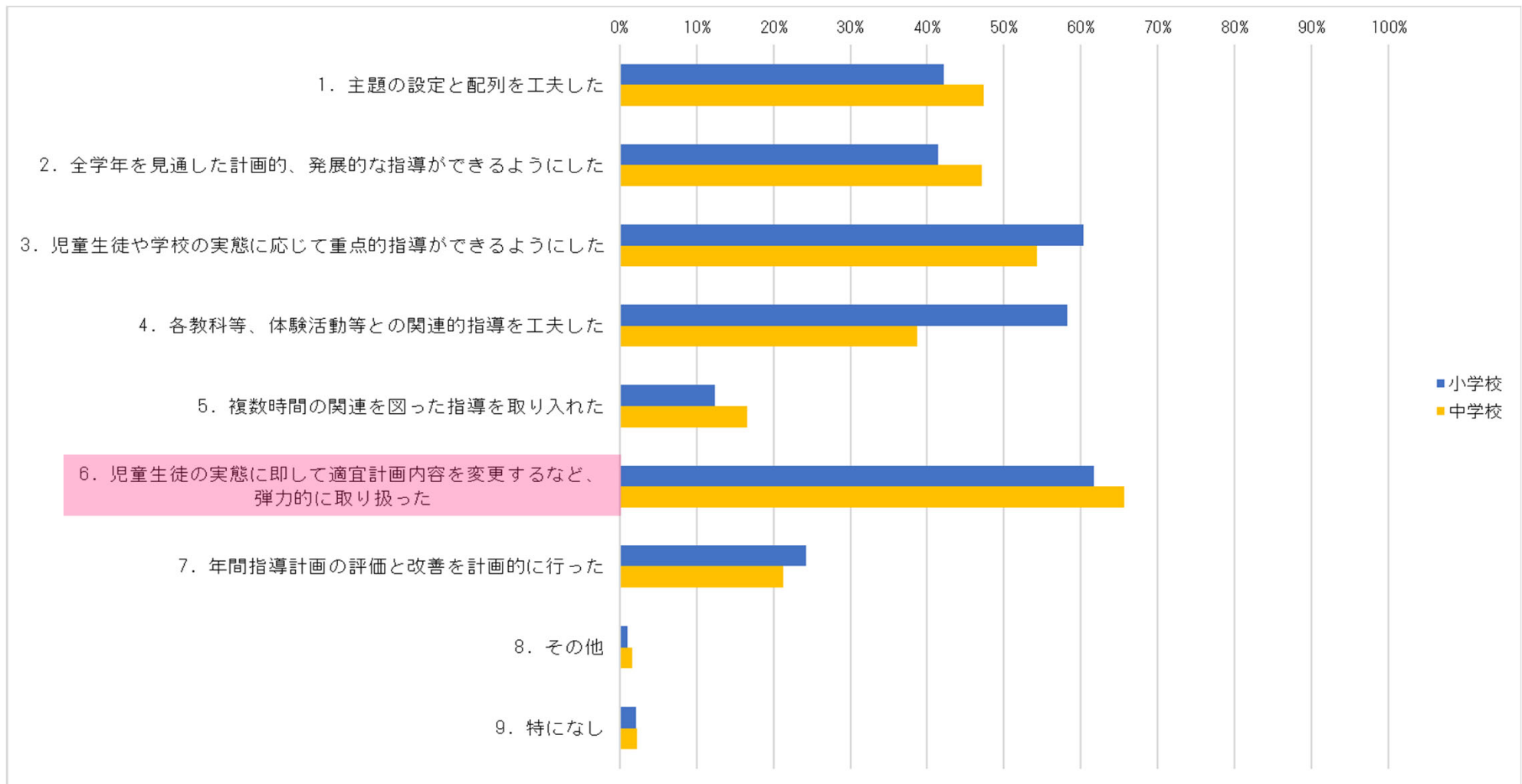
調査結果（小・中学校）

【設問3】 道徳教育を推進する上での課題（複数回答可）



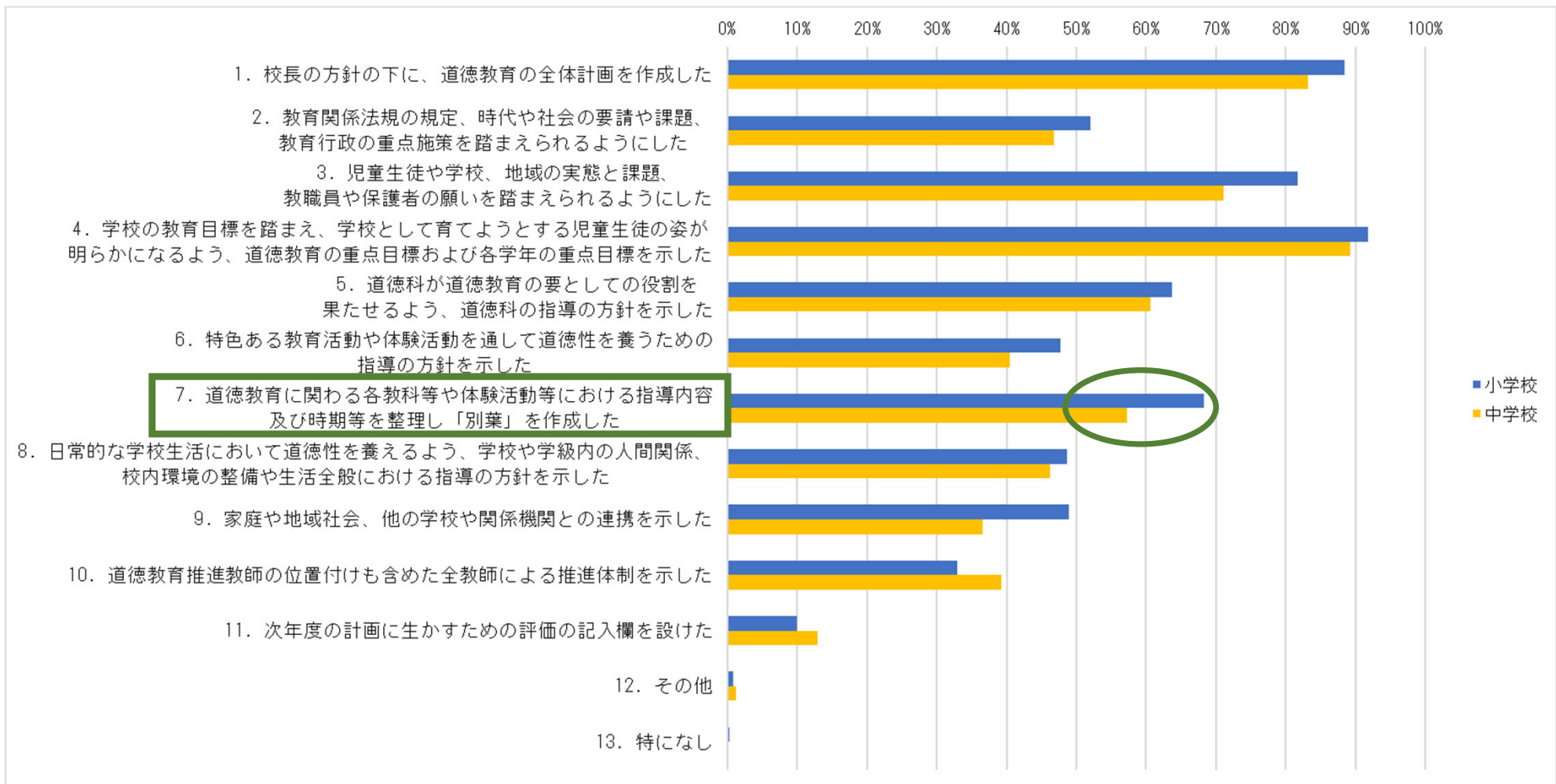
調査結果（小・中学校）

【設問4】 道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫
 （複数回答可）



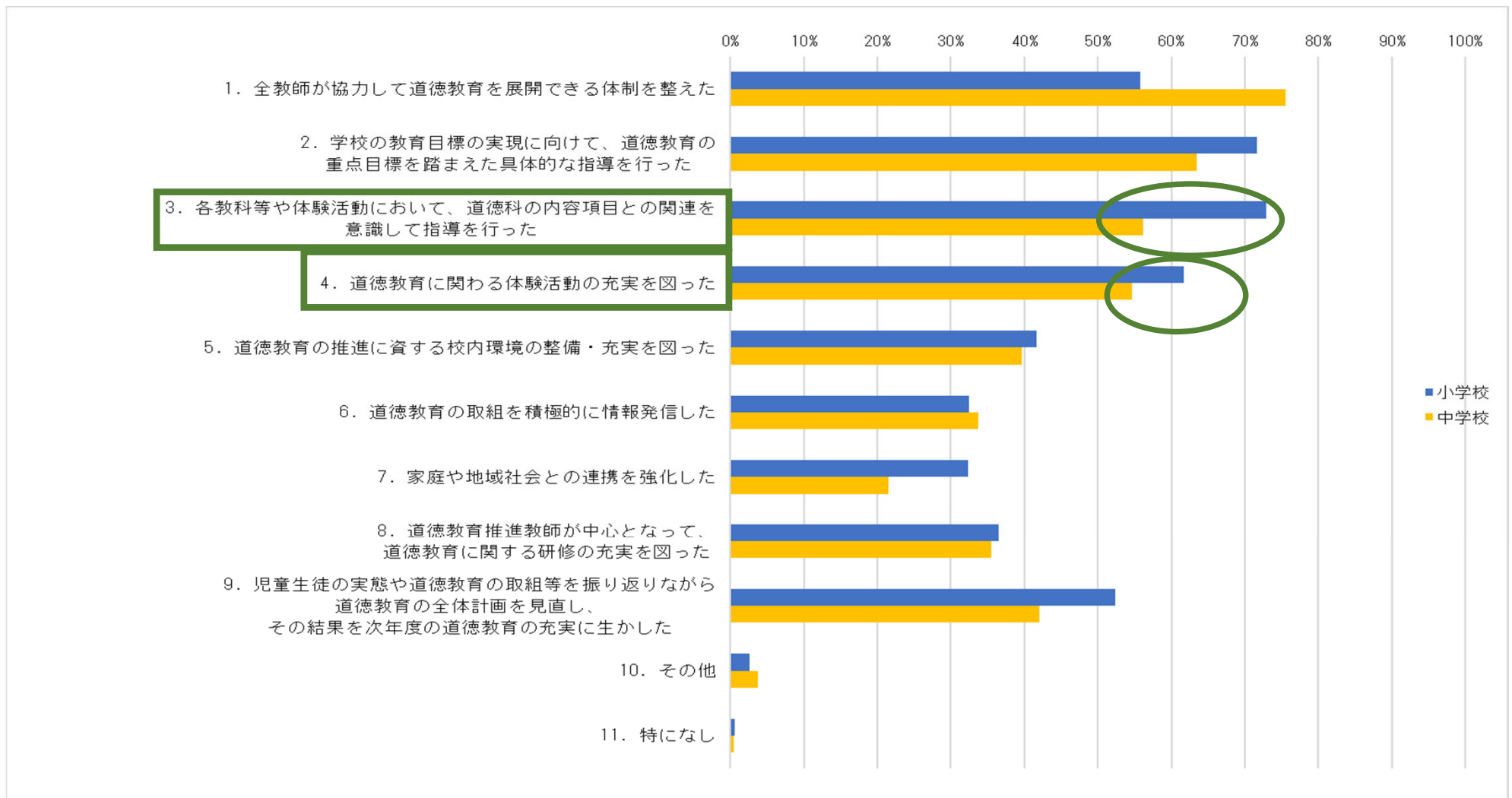
調査結果（小・中学校）

【設問1】 道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点（複数回答可）



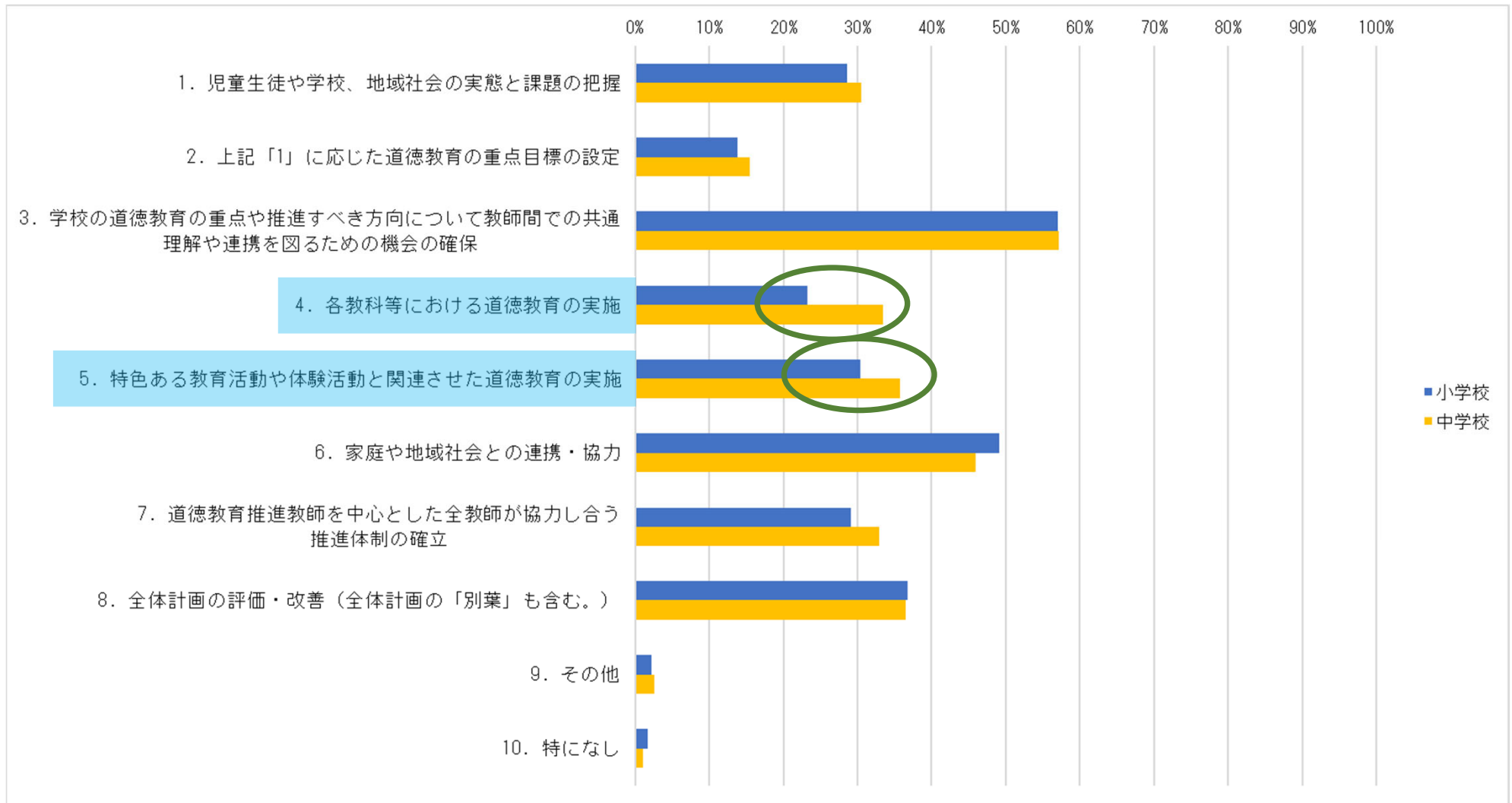
調査結果（小・中学校）

【設問2】 道德教育の充実のために学校として行った取組（複数回答可）



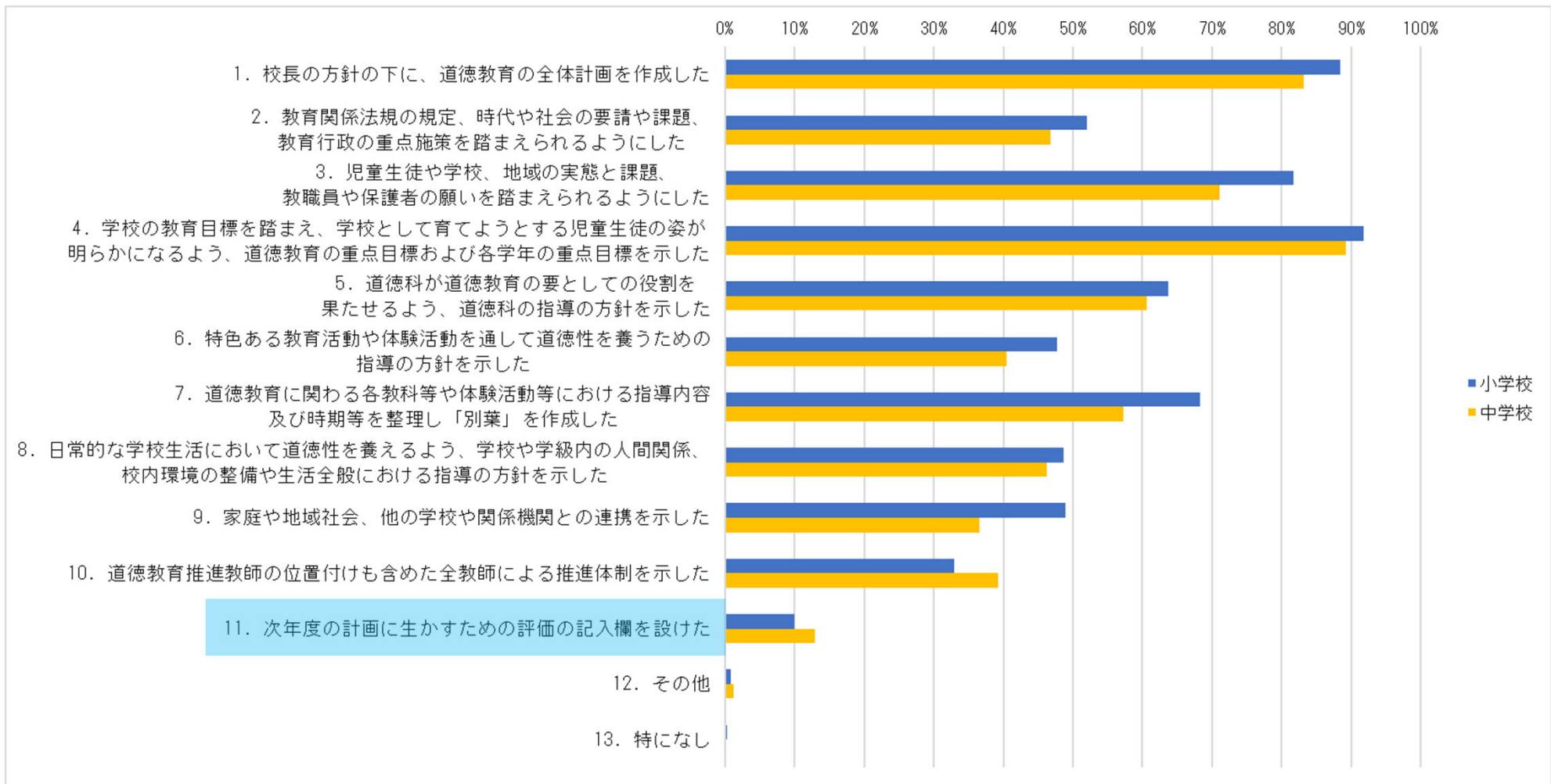
調査結果（小・中学校）

【設問3】 道徳教育を推進する上での課題（複数回答可）



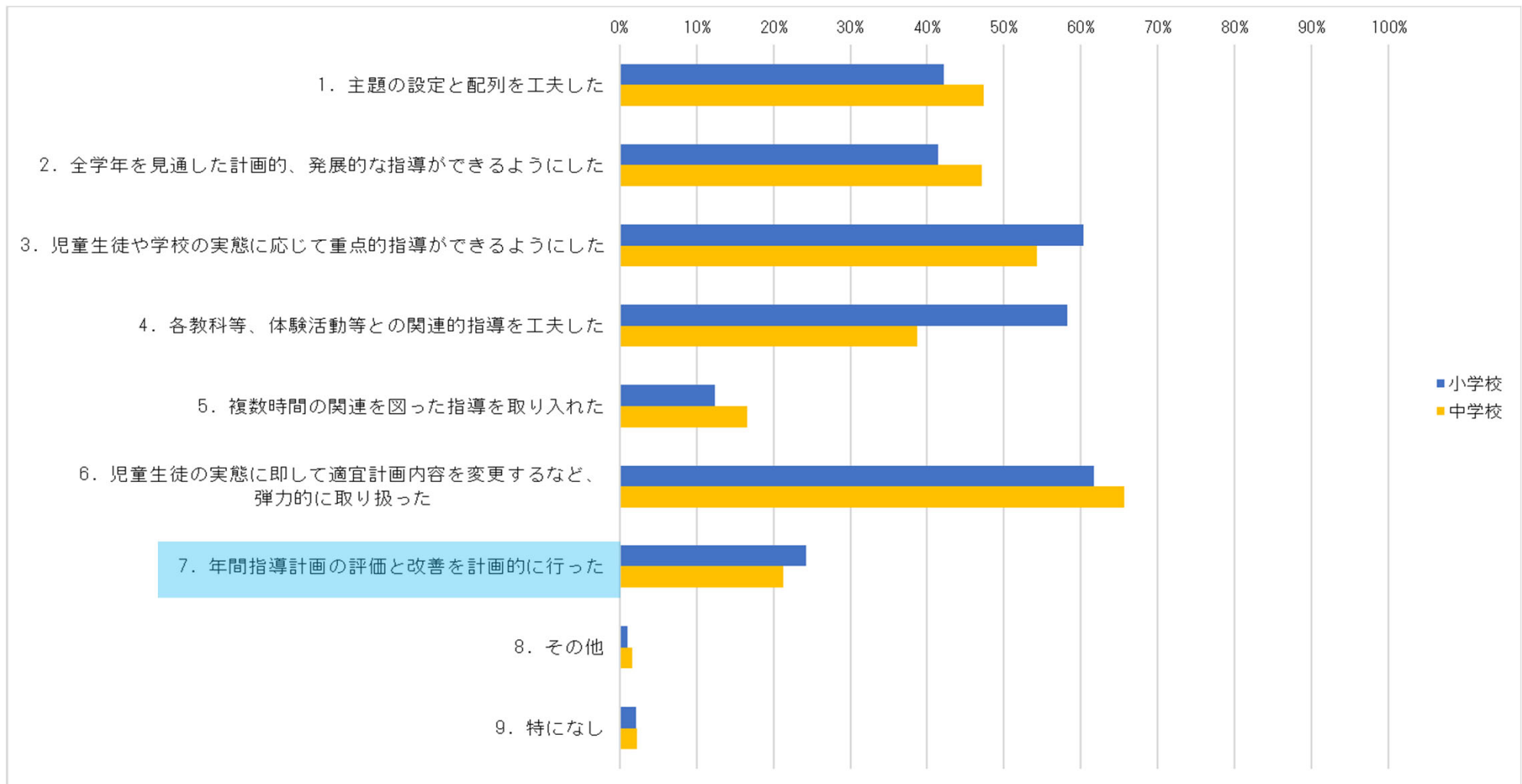
調査結果（小・中学校）

【設問1】 道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点（複数回答可）



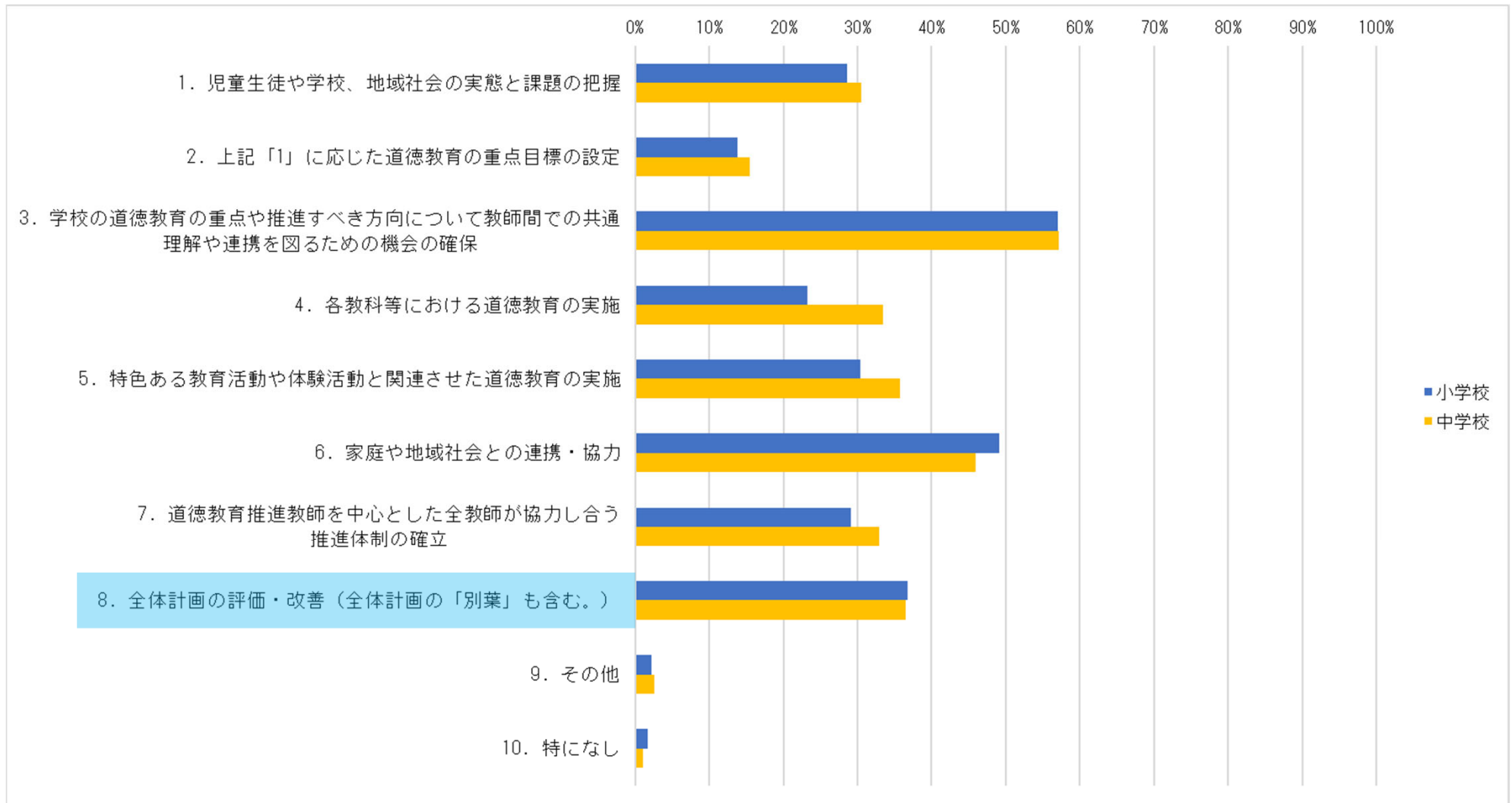
調査結果（小・中学校）

【設問4】 道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫
(複数回答可)



調査結果（小・中学校）

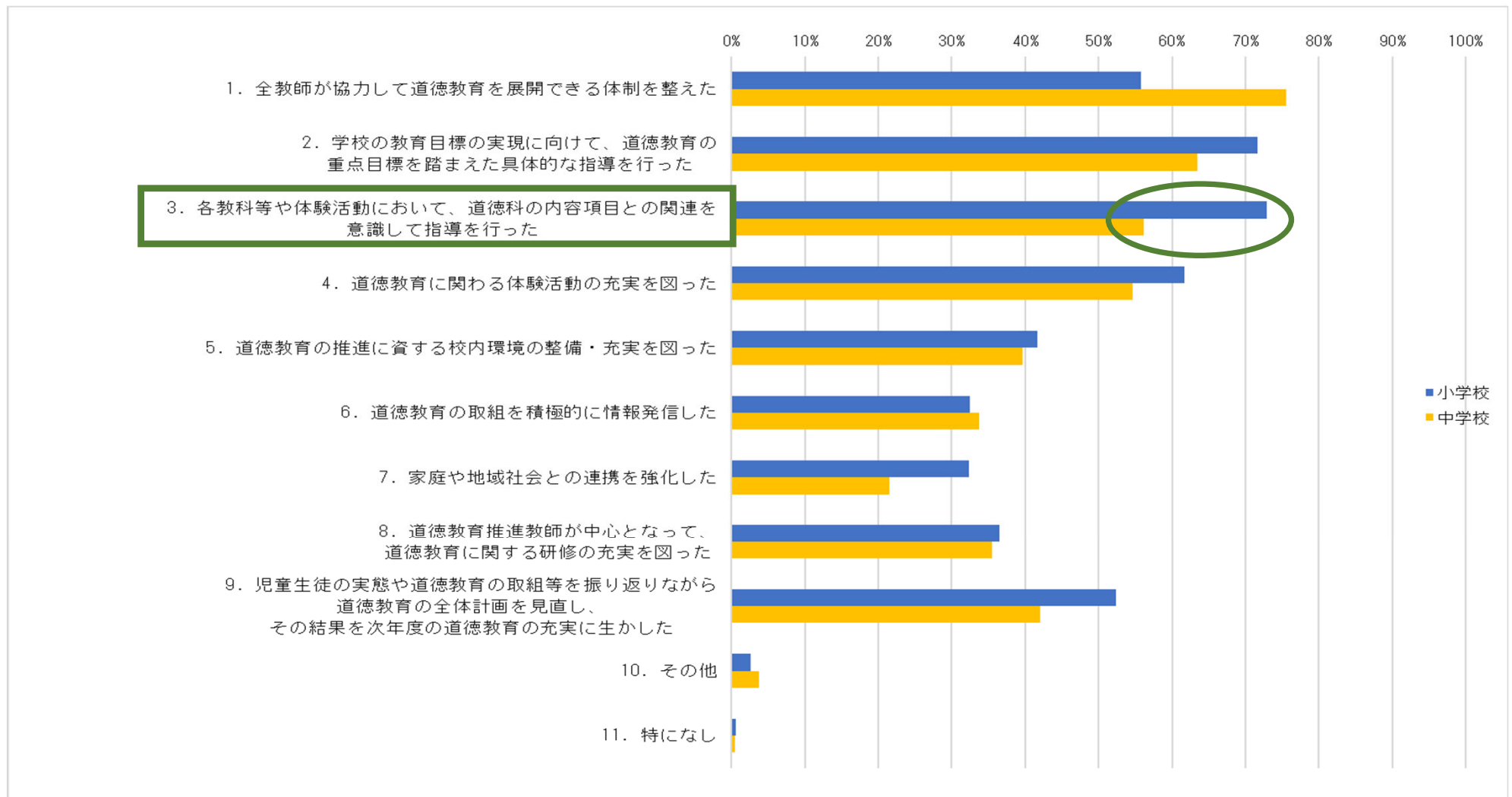
【設問3】 道徳教育を推進する上での課題（複数回答可）



VI 指導体制と研修の充実

調査結果（小・中学校）

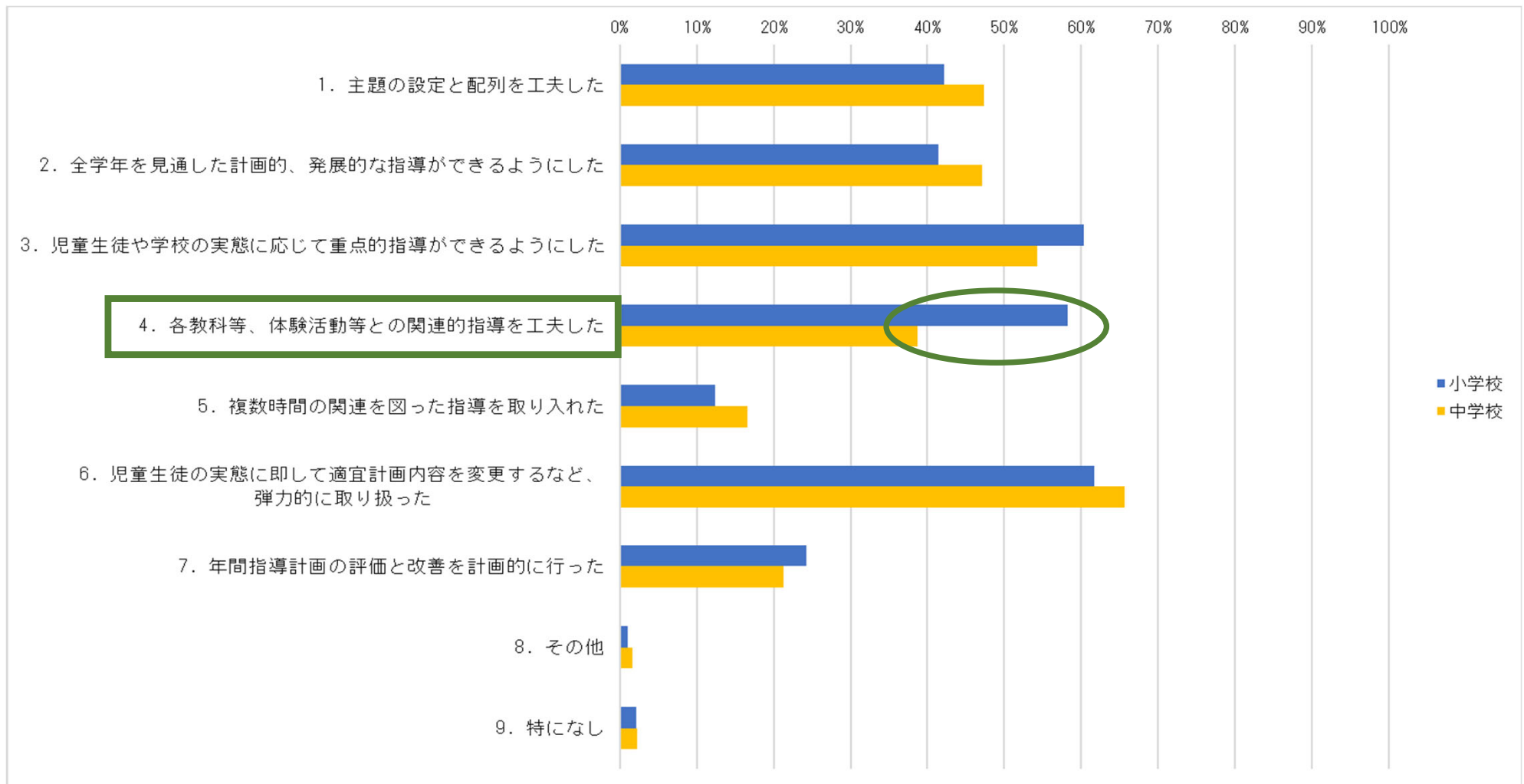
【設問2】 道徳教育の充実のために学校として行った取組（複数回答可）



VI 指導体制と研修の充実

調査結果（小・中学校）

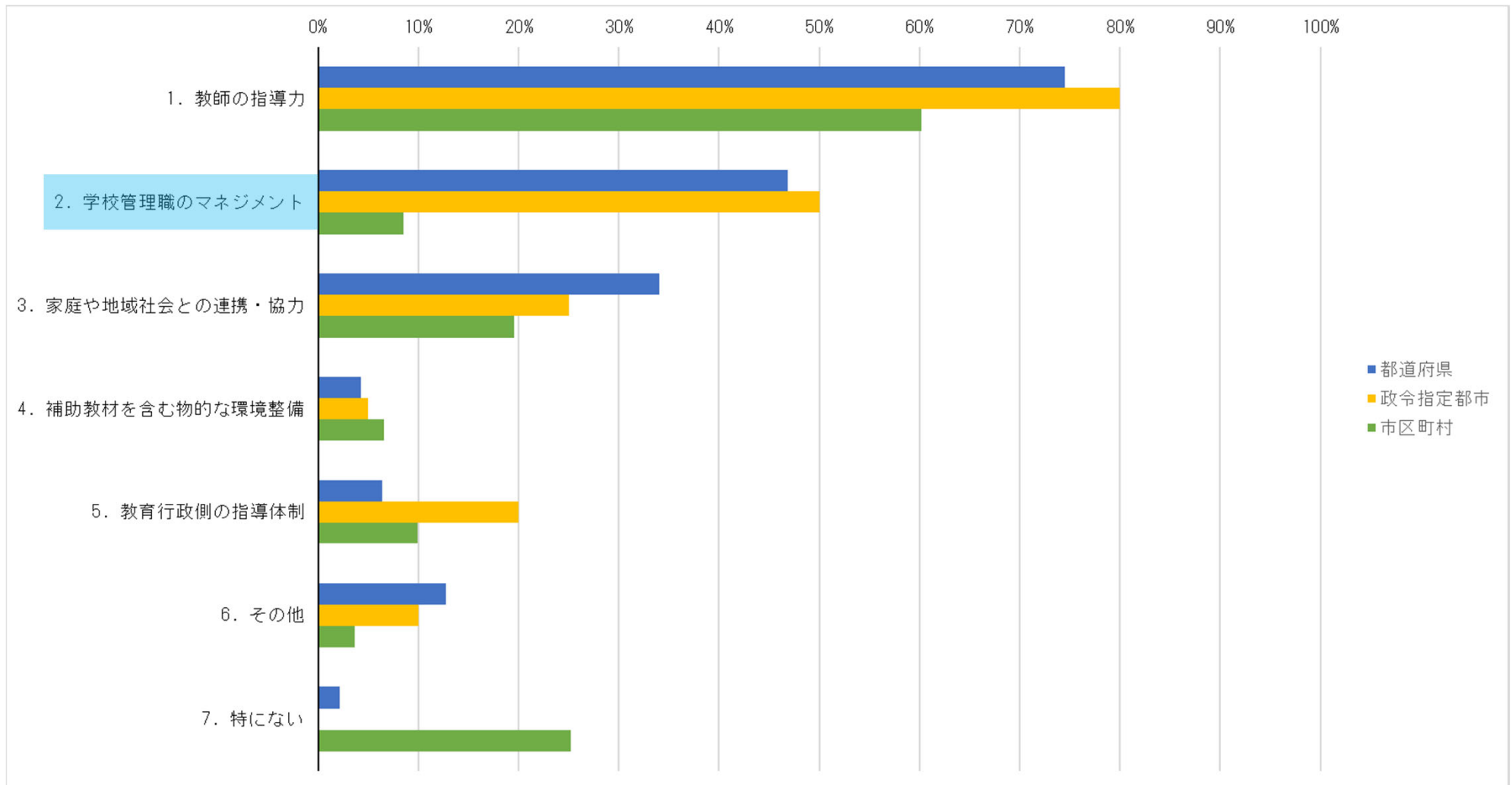
【設問4】 道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫
(複数回答可)



VI 指導体制と研修の充実

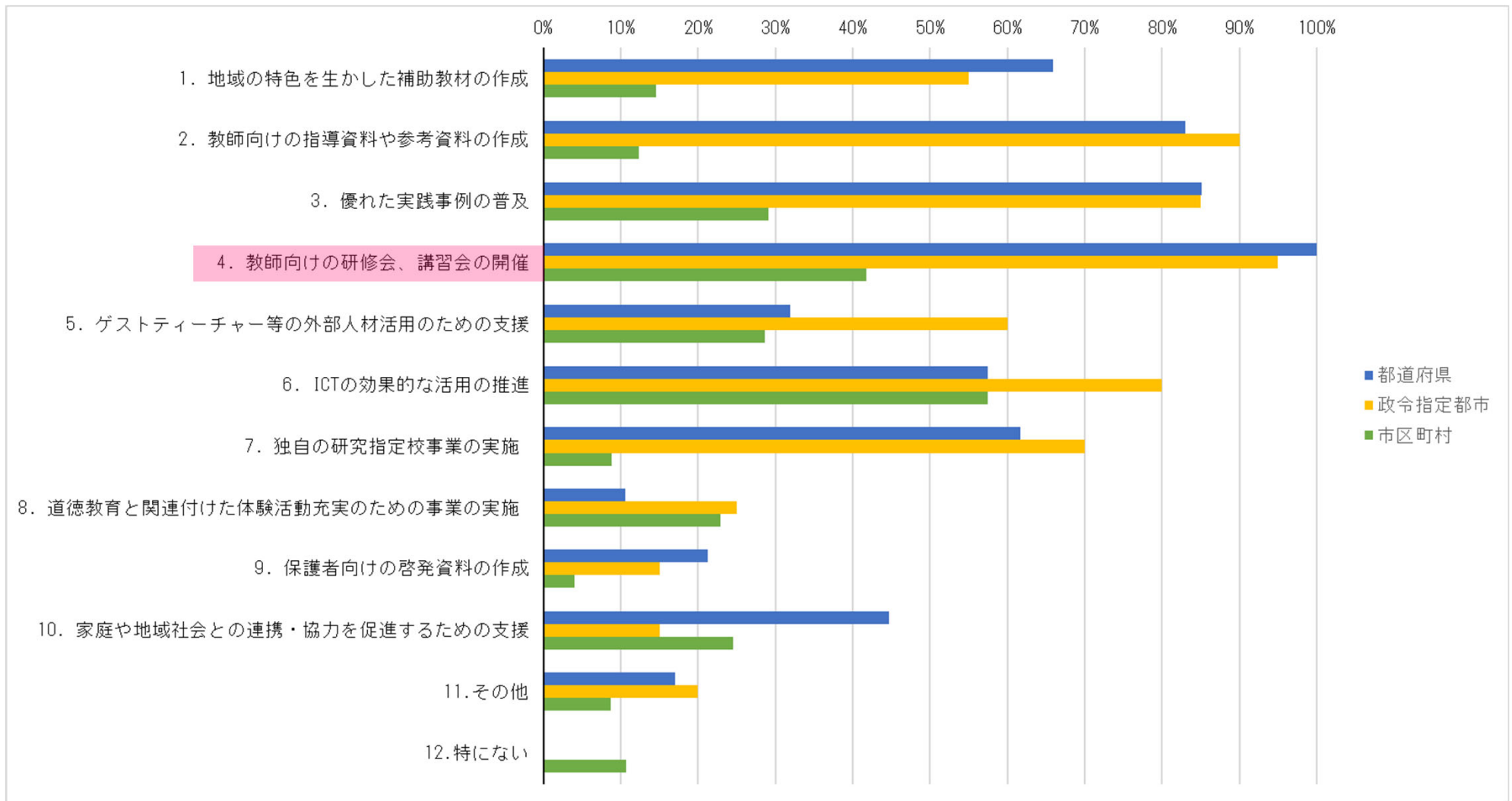
調査結果（小・中学校）

【設問2-①】 道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること
(複数回答)



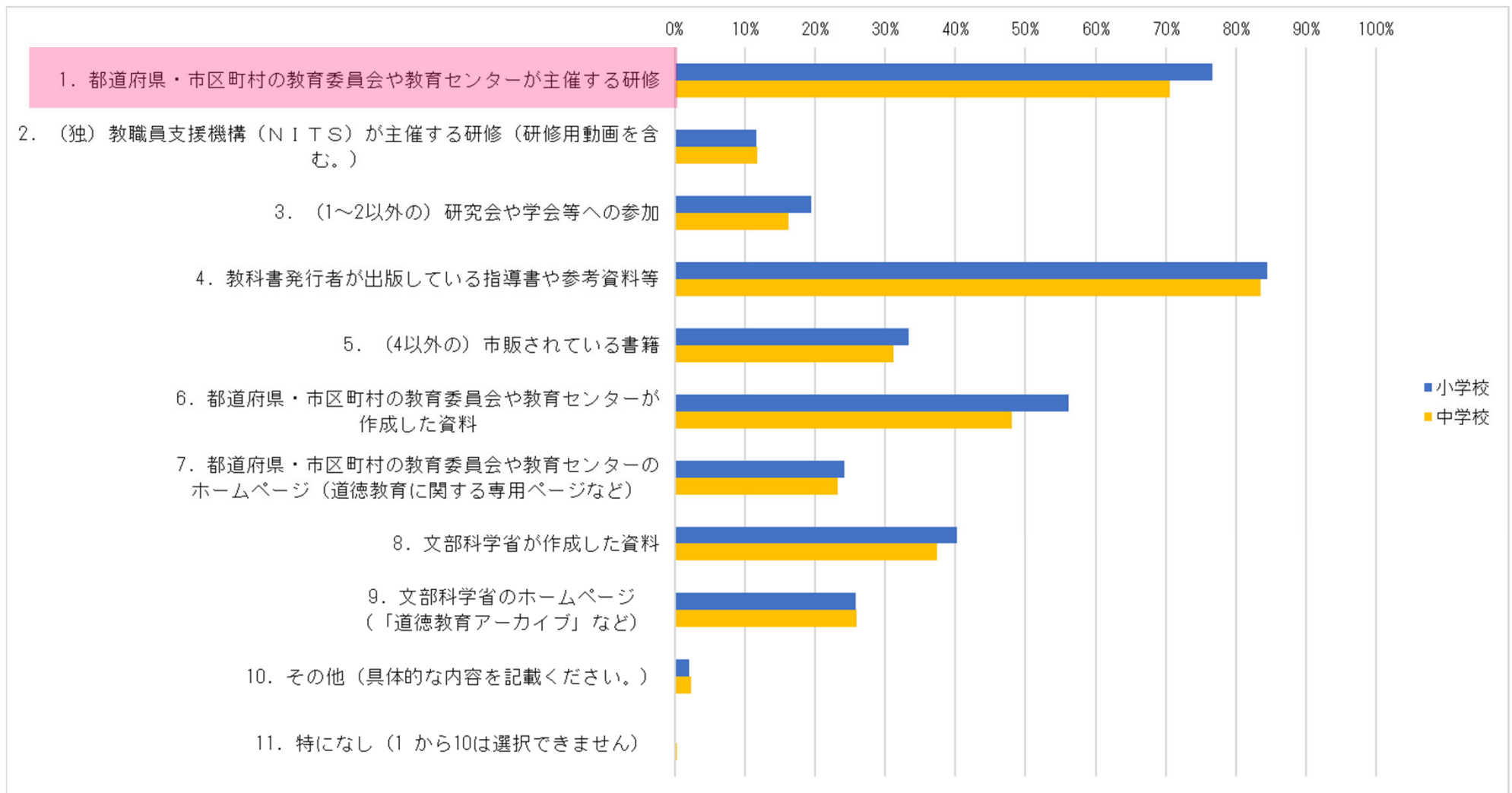
調査結果（教育委員会）

【設問1】 道徳教育の充実のためにやっている取組（複数回答）



調査結果（小・中学校）

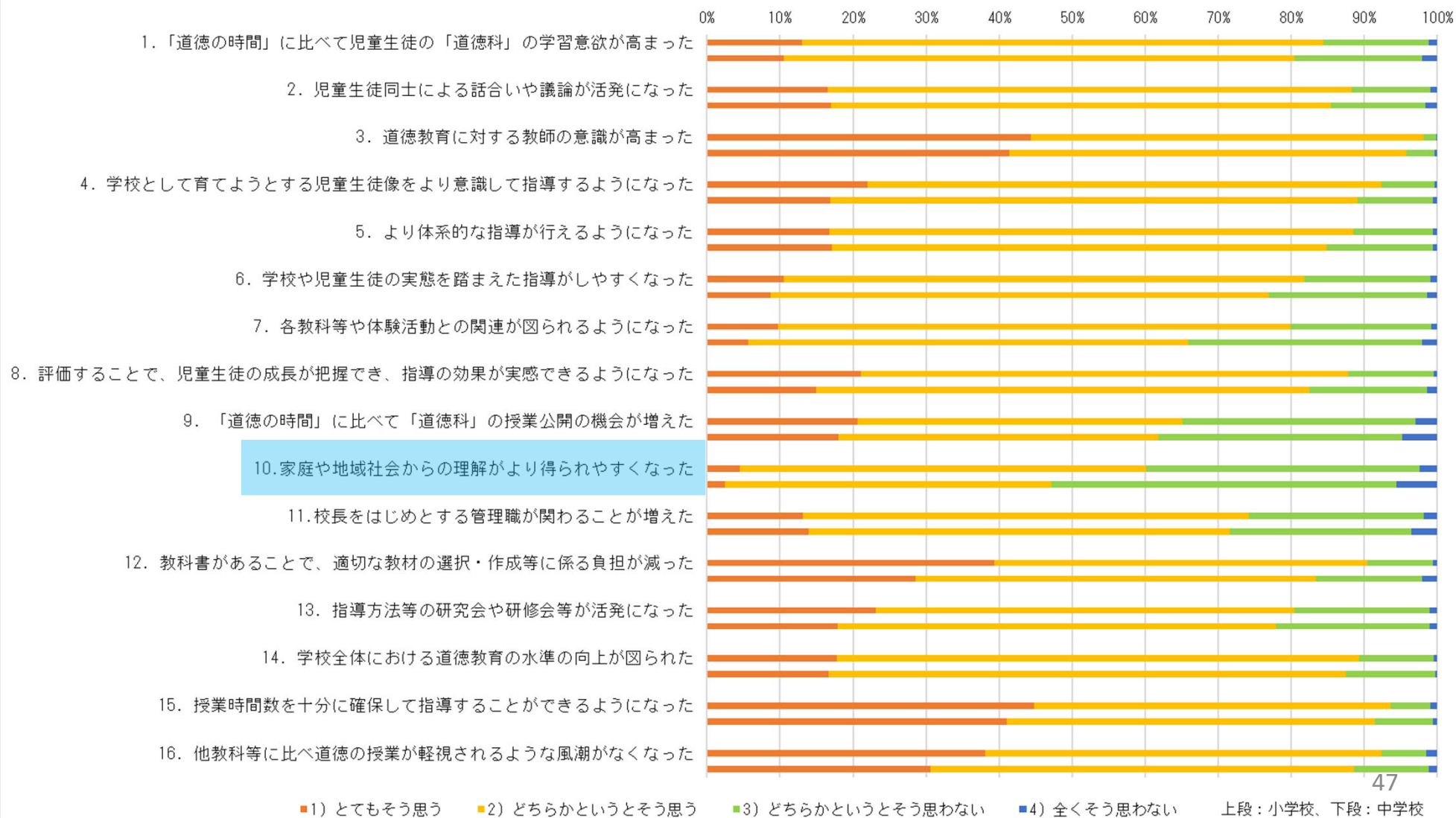
【設問11】 道徳教育の充実のために参考としている情報（複数回答可）



Ⅶ 家庭・地域社会との連携

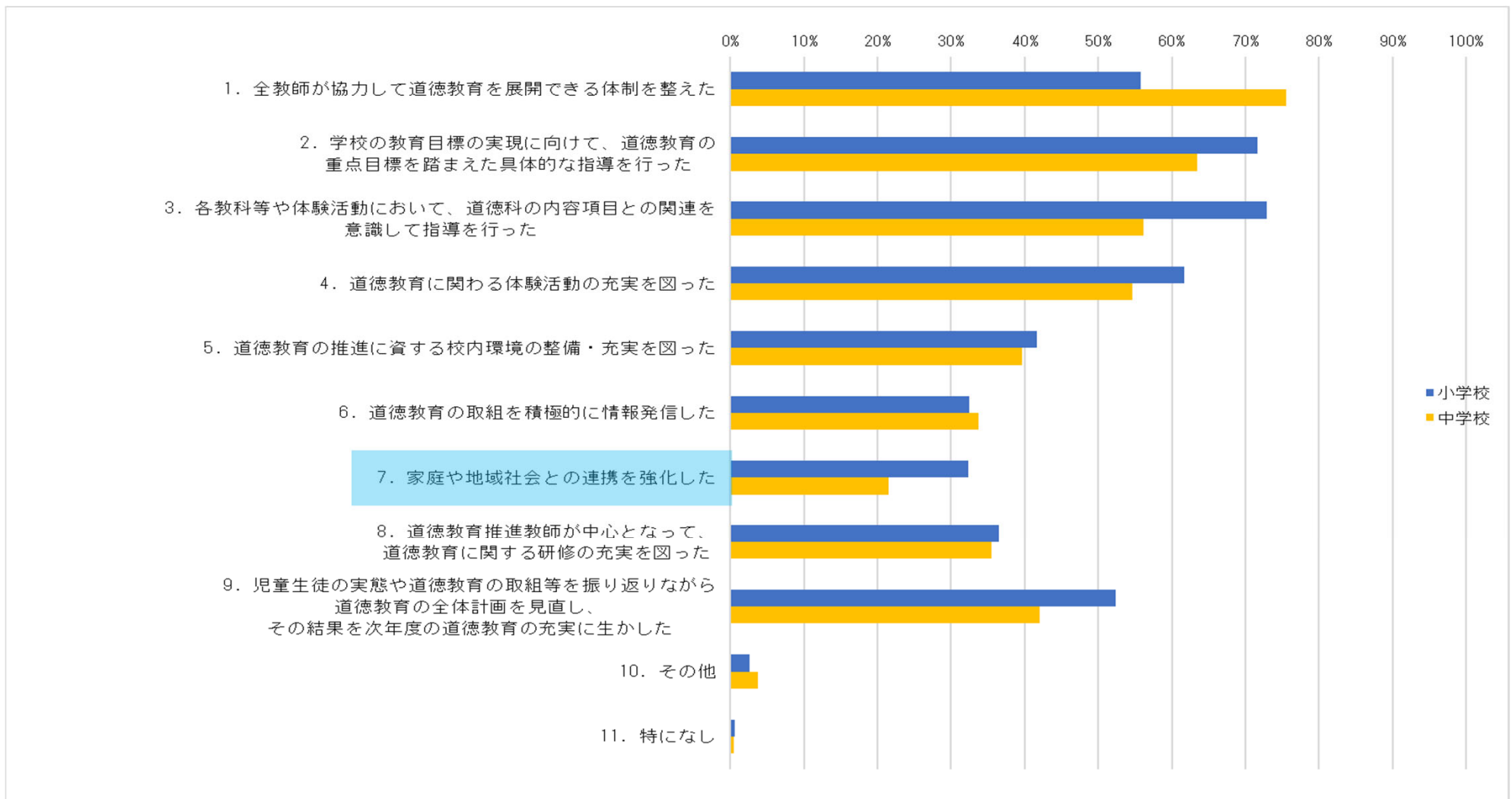
調査結果（小・中学校）

【設問12】 道徳の「特別の教科」化を受けた変化



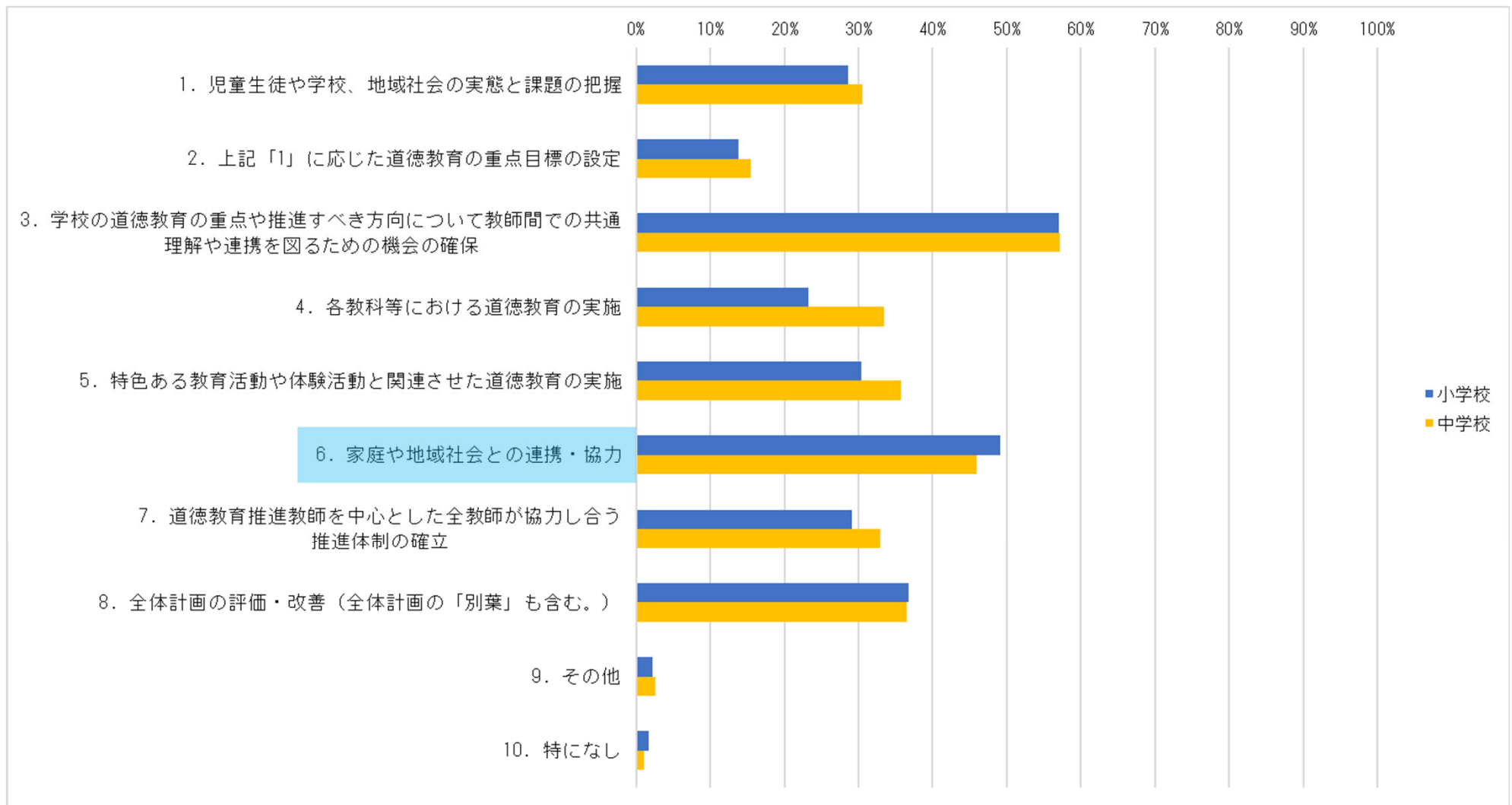
調査結果（小・中学校）

【設問2】 道徳教育の充実のために学校として行った取組（複数回答可）



調査結果（小・中学校）

【設問3】 道徳教育を推進する上での課題（複数回答可）



VIII 今後の充実に向けた国の取組への示唆

VIII 今後の充実に向けた国の取組への示唆

道徳教育アーカイブ ～「特別の教科 道徳」の全面实施～

文字サイズ 小 **中** 大 Google 検索 文部科学省



文部科学省では、「特別の教科 道徳」の趣旨や理念の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供し、学校の取組を全力で支援します。

道徳教育について

- ▶ 「道徳教育アーカイブ」について
- ▶ 道徳教育を知るための資料
- ▶ 文部科学省作成教材
- ▶ 実践事例
- ▶ 授業映像
- ▶ 工夫事例(指導案)
- ▶ いじめ問題に関する授業実践
- ▶ 参考資料
- ▶ 教育委員会等作成指導資料(手引き)
- ▶ 授業で使える郷土教材

Pick Up

- 令和4年3月28日 工夫事例(指導案)、いじめ防止を扱う実践事例を更新しました。
- 令和4年3月10日 工夫事例(指導案)、いじめ防止を扱う実践事例、教育委員会等作成指導資料(手引き)を更新しました。
- 令和4年3月1日 授業映像に小学校(3事例)の動画を追加しました。
- 令和4年2月4日 道徳教育を知るための資料(研修用資料)に「令和3年度 小学校/中学校各教科等担当指導主事連絡協議会」を追加しました。
- 令和3年3月31日 授業映像に小学校(2事例)の動画を追加しました。
- 令和2年4月21日 授業映像に小学校(2事例)、中学校(1事例)の動画を追加しました。
- 授業映像に中学校の動画(2事例)を追加しました。
- 研修用資料に「平成29年度 道徳教育指導者養成研修ブロック説明会 行政説明資料「道徳教育の抜本的充実に向けて」」を追加しました。
- 文部科学省作成教材に「小学校道徳 読み物資料集」と「中学校道徳 読み物資料集」を追加しました。
- 平成28年11月18日付で、文部科学大臣より以下のメッセージを発信いたしました。
いじめに正面から向き合う「考え、議論する道徳」への転換に向けて(文部科学大臣メッセージ)について
- 平成29年4月11日付で、文部科学大臣より以下のメッセージを発信いたしました。
東日本大震災により被災した児童生徒又は原子力発電所事故により避難している児童生徒へのいじめの防止について



NITS 校内研修シリーズ 検索



全国の学校教育関係職員に豊富で質の高い研修機会を提供するため、校外、校内、自己研修を問わず、いつでもどこにいても研修が可能となるよう、「校内研修シリーズ」を始め、講義動画などの研修教材を提供しています。

「校内研修シリーズ」では、これまでに、本編93本、新学習指導要領編59本の計152本を配信しています。ぜひ積極的にご活用ください。



道徳科に求められる評価：校内研修シリーズ No46



高等学校における道徳教育の充実に向けて：校内研修シリーズ No 81